

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY EXTENSION CENTER
酪農学園大学社会連携センター

2019年度 事業報告

2020年5月1日発行



サンディー

社会連携センター 2019年度 事業報告

目次

1. 社会連携センター		
(1) ホームページアクセス状況	…………	4
(2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う取り組みについて	…………	6
(3) SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み推進について	…………	7
2. 地域連携課		
(1) 公開講座	① オープンアカデミー	………… 8
	② 提携講座	………… 13
	③ 協力講座	………… 13
(2) 域総合交流事業	① 協定一覧	………… 16
	② 協定実績	…………17
	③ 高大連携協定一覧及び講義・講座	…………20
	④ 中標津出張セミナー	…………21
	⑤ 動物愛護フェスティバル	…………21
	⑥ 江別ホルスタインショウ	…………21
	⑦ 札幌グランドホテル	…………22
	⑧ 美味しい江別ナイト	…………22
	⑨ コーブさっぽろ	…………23
	⑩ 北海道	…………23
(3) ミルク産業活性化推進事業	① プラスワン牛乳運動	…………24
	② ひらめき教室	…………24
	③ ミルク産業活性化推進事業(学類)	…………25
(4) その他	① サンサンキッズ	…………26
	② 羽幌町	…………26
	③ 雪印メグミルク株式会社	…………26
	④ 農場HACCP研究会	…………26
	⑤ アニマルウェルフェア畜産協会	…………27
	⑥ 北海道酪農技術セミナー	…………27
(5) 酪農PLUS+	① アクセス状況	…………28
	② SNSアクセス状況	…………36
	③ 共進会	…………38
	④ サンディー活動状況	…………39
3. 国際交流課		
(1) 学術交流協定	…………	40
(2) 研究者・研修員・訪問者の受入れ	…………	42
(3) JICA(独立行政法人国際協力機構)	…………	43
(4) 学生の受入れ	…………	44
(5) 学生の派遣	…………	45
(6) 外国人留学生	…………	47
(7) 青年海外協力隊派遣実績	…………	47
(8) TOEIC-IP, TOEIC対策e-learning	…………	48
(9) 北海道アルバータ酪農科学技術交流協会	…………	49
2019年度社会連携センター運営委員会	…………	50

1. 社会連携センター

※GoogleAnalyticsではすべてのユーザーの属性、環境などを判別することができないため、各項目の合計値は総アクセス数とは一致しない。

(1) ホームページアクセス状況

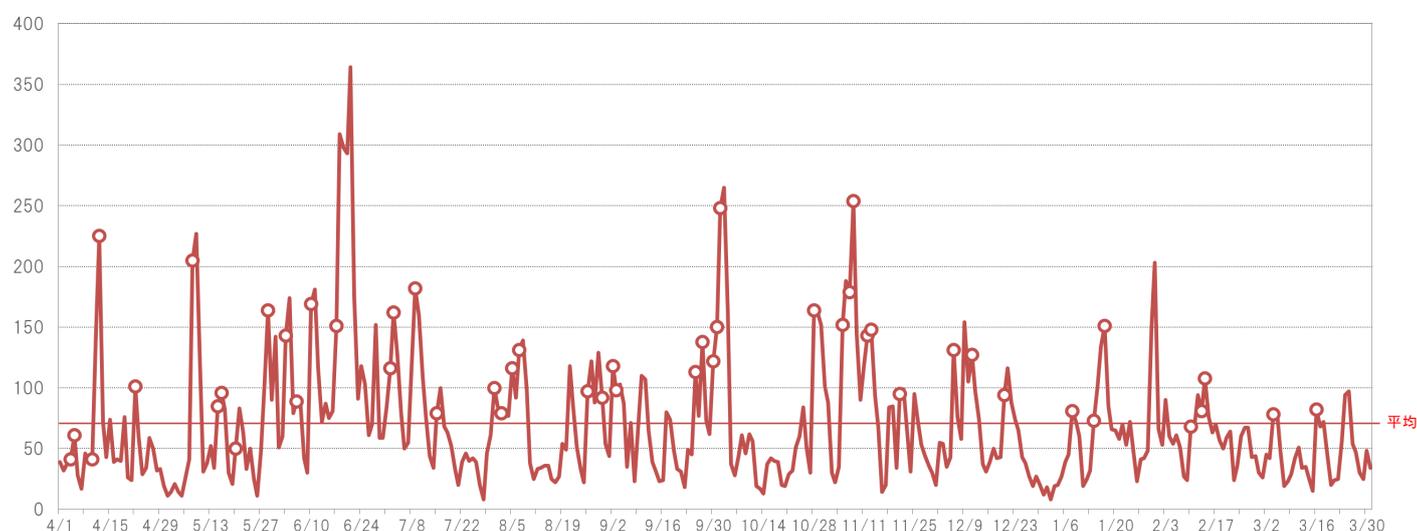
2019年3月15日に社会連携センターのホームページをパソコンでの閲覧を前提とした仕様から、スマートフォンやタブレット端末でも閲覧しやすい表示、デザインにリニューアルしました。

2019年度より本格的な運用を開始し、2018年度と比較し閲覧数が約24%増加しました。

① 日別アクセス状況

- 総アクセス数 25,798人(前年度+5,066人)
- 日平均アクセス数 70人(前年度+13人)
- 日最高アクセス数 364人(6/21 江別市内に出没していたクマの映像が本学で撮影され、大きく報道された)

(人) ○：更新(大学TOP運動)



② 地域別アクセス状況

国別では学术交流協定機関のあるアメリカ、カナダ、タイなどからのアクセスが多い傾向にありました。都道府県別では北海道、東京都からのアクセスが目立ち、全体の71%を占めていました。市区町村別でも札幌市、千代田区、江別市からのアクセスが全体の49%となりました。

■ 国別

	国名	アクセス数
1	日本	16,640
2	アメリカ	796
3	カナダ	81
4	タイ	55
5	(不明)	54
6	台湾	31
7	ウガンダ	30
8	インド	27
9	中国	22
10	マレーシア	16

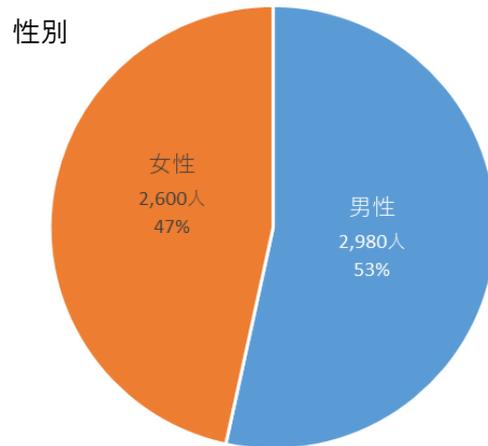
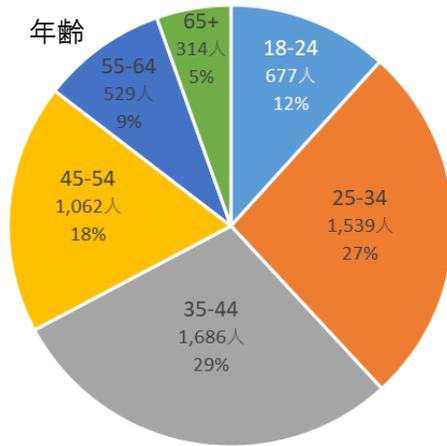
■ 都道府県別

	都道府県名	アクセス数
1	北海道	6,409
2	東京都	5,521
3	大阪府	1,170
4	神奈川県	1,118
5	愛知県	360
6	千葉県	275
7	埼玉県	245
8	福岡県	209
9	宮城県	191
10	兵庫県	191

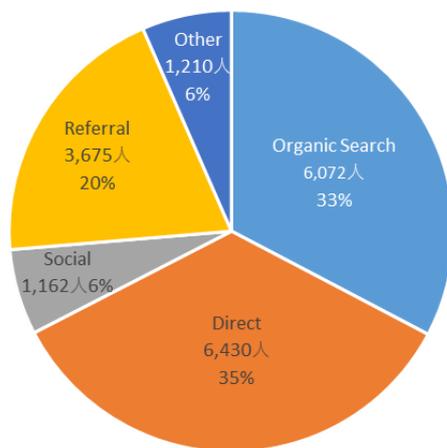
■ 市区町村別

	市区町村名	アクセス数
1	札幌市	3,602
2	千代田区	2,791
3	江別市	1,854
4	大阪市	913
5	新宿区	906
6	横浜市	869
7	港区	607
8	中央区	329
9	名古屋市	241
10	仙台市	163

③ 年齢・性別アクセス状況



④ 流入経路別アクセス状況



- **Organic Search**
GoogleやYahooなどの検索サイトから流入
- **Direct**
ブラウザのブックマークやURL直接入力、QRコードから流入
※酪農学園大学ホームページからの流入を含む
- **Social**
FacebookやTwitterなど、ソーシャルメディアから流入
- **Referral**
他のサイトに貼られた外部リンクから流入
- **Other**
その他



⑤ ページ別アクセス状況

公開講座紹介ページが最も多く閲覧されました。6月に江別市内に出没したクマに対する関心が非常に高く、お知らせ、野生動物講座ともにアクセスが伸びました。

社会連携センター

	ページ名	閲覧数
1	江別市内におけるクマの出没について	1,765
2	新型コロナウイルスによる感染症に係る本学の対応について	835

国際交流課

	ページ名	閲覧数
1	留学プログラム	1,121
2	留学体験談	945
3	国際交流TOP	733
4	タイ・カセサート大学獣医学部の単位認定研修プログラム 月次報告書(9・10月分)	521
5	学術交流協定	489

地域連携課

	ページ名	閲覧数
1	公開講座	2,128
2	野生動物講座	1,024
3	ひらめき☆教室 - ウシのお医者さん体験をしてみよう!	920
4	第14回酪農学園大学公開講座 今、野生動物との関係を見直す	561
5	2019年度 大動物継続教育合同セミナー	507

(2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う取り組みについて

(2020.3.31までの対応)

社会連携センター

2020年1月30日 社会連携センターホームページに新型コロナウイルス感染症に係る本学の対応について公開しました。

酪農PLUS+

2020年3月 3日 学校給食が中止になり、牛乳・乳製品の需要減少懸念されるため、酪農PLUS+ホームページ、Facebook、Instagramにて積極的な消費を促すメッセージとミルクレシビを紹介しました。
Facebookで農林水産省が公開している、新型コロナウイルスについてページをシェアしました。

3月16日 卒業式中止に伴い、酪農PLUS+ホームページ、Facebook、Instagramにて、卒業生へメッセージを発信しました。

3月18日 3/3に公開した記事が教育学術新聞に取り上げられました。



国際交流課

2020年度国際交流カレンダーに、海外渡航における注意喚起「感染症対策編」の中で新型コロナウイルスに関する情報を記載しました。

2020年1月 1日 カナダ出張中のアルバータ協会事務局長より、ネットニュースにおいて「武漢市で原因不明の肺炎発生」との情報提供⇒国際交流課で共有し、情報収集しました。

1月 6日 外務省海外安全情報「中国湖北省武漢における原因不明の肺炎の発生」を関係職員間で共有しました。

1月21日 全教職員にJCSOS危機管理情報「【中国】武漢の新型肺炎」を配信、以降外務省・JCSOSなどからの関連情報を全教職員に随時配信(3月31日時点32件)を行いました。

1月24日 教職員、学生の年度内海外出張情報を集約し、一覧作成(学生14件48名、教員17件19名)し、その後出張中止は、学生5件13名、教員13件15名となりました。

1月27日 社会連携センター運営委員会において「渡航先の外務省危険情報・感染症危険情報を判断基準とし、レベル2(不要不急の渡航は止めてください)が発出された時点で、渡航禁止」とする議題審議、決定しました。全学生に「【重要】【注意喚起】中国における新型コロナウイルスの発生」を配信(以降注意喚起等3件)、同時に全教職員および学生に中国湖北省に在留している学生等の情報提供依頼および帰国希望調査を配信しました。

1月28日 在籍外国人留学生に帰省や渡航に際し「レベル2以上で渡航禁止」とする旨通知しました。

1月30日 ホームページに「本学の対応について」を公開しました。

3月 4日 全学生に「学生の海外渡航について報告のお願い」を配信、**57名**の渡航情報を集約し、一覧を作成しました。
一覧を毎日更新・管理し、関係者と情報共有して対応にあたりました。

3月23日 社会連携センターホームページに新型コロナウイルス感染症危険情報を公開しました。

3月31日現在 本国に帰省・帰省を希望した留学生への対応
5件(内日本帰国後の健康観察実施**1件**、日本帰国困難学生**2件**、本国帰省中止**2件**)
海外に渡航した学生への対応(帰省留学生を含む)
57件(**51名**帰国済、**3名**渡航中、**3名**渡航中止)

(3) SDGs (持続可能な開発目標) の取り組み推進について

2019年2月12日付常任理事会において、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の取り組み推進が議決され、3月14日評議会において大学として承認されました。

～2019年度進捗状況～

- ① 教職員への周知・SDGs理解促進のための研修会等の開催
 - 附属高校を含めた学園の全教職員へ向けた全体研修にてSDGsの概要を講演することができました。また、教務課にもご協力いただき、2020年度から授業内容とSDGsの達成目標の紐づけも行われました。教員を中心にSDGs達成の重要性について理解が進んでいます。また、RICOHの協力によって学内出力機器における出力状況の調査も行われたことでSDGsにおける取り組みの第一歩を踏むことができました。これからは大学全体で、取り組んでいけるよう各部署だけでなく、包括的に取り組んでいきます。
- ② 学生への周知・SDGs理解促進
 - 学生へのSDGsに関する情報発信としては、地域連携課主催の公開講座におけるポスターやチラシにSDGsのロゴ掲載やホームページでの紹介を通じて実施しています。しかし、実際に学生の理解が深まっているか把握できないため、学生には今後さらにSDGsの知識を深めていってもらうとともに、どの程度理解しているか調査も必要となります。
- ③ 酪農学園出力環境『見える化調査』の実施
 - リコージャパン株式会社の協力を得て、酪農学園(各研究室除く)における出力環境(プリンター、FAX、複合機等)の調査を実施しました。第1回は2月26日・27日・3月16日・17日・23日の5日間調査を行い、約250台を確認しました。本学は他の民間企業より台数が多く、機能を効果的に利用されていない様で、待機電力も非常に大きいことが指摘されました。今後は使用者、管理者のアンケート調査を実施して消費電力の削減、用紙、インク等消耗品の削減に向け検討をしていきます。

～北海道SDGs推進プラットフォーム～

- 2019年 7月24日(水) 北海道SDGs推進プラットフォーム・第1回SDGs推進委員会(コープさっぽろ主催)
 10月18日(金) 第1回SDGs研究会・第2回SDGs推進委員会(コープさっぽろ主催)
 2020年 1月17日(金) 第2回SDGs研究会・第3回SDGs推進委員会(コープさっぽろ主催)
 3月13日(金) 第3回SDGs研究会・第4回SDGs推進委員会(コープさっぽろ主催)→新型コロナウイルス感染拡大のため中止

～北海道SDGs推進ネットワーク～

- 2020年 1月17日(金) 北海道SDGs推進ネットワークへ登録申請→1月22日承認
 2月 7日(金) 北海道×SDGs推進セミナー(北海道主催)

～その他セミナー参加～

- 2019年 7月22日(月) SDGs説明会(江別市主催)



2. 地域連携課

(1) 公開講座

① オープンアカデミー

酪農学園大学市民公開講座 【589名】

本学の研究成果を、知的財産の提供や卒後教育に役立てていただくことを目的として、「市民公開講座」を開講しています。

開催日	講座名	講師	受講料	定員	受講者
4月20日(土)	人と動物の素敵な関係講座Ⅰ 「犬の歯周病とデンタルケア」	八百坂紀子	1,000円	30名	30名
5月11日(土)	パソコン講座 「ワープロソフトで作成する文書 最初の一步から」	森 夏節	1,000円	30名	18名
6月22日(土)	野生動物講座	佐藤 喜和	1,000円	30名	72名
6月30日(日)	園芸学講座 「花の見方・楽しみ方～初夏の百合が原公園で宿根草を楽しもう～」	森 志郎	1,000円	30名	28名
7月 6日(土)	人と動物の素敵な関係講座Ⅱ 「ペットの防災：適切なしつけはこういう時にも役に立ちます」	郡山 尚紀	1,000円	30名	26名
7月14日(日)	円山動物園体験講座 「熱帯を生きるゾウやオランウータンの野生での暮らしを考える」	金子 正美	1,000円	30名	36名
7月28日(日)	たのしい理科実験講座Ⅰ 「体のしくみを知ろう」	岩野 英知 玉利 和弘	1,000円	50名	17名
8月 3日(土)	たのしい理科実験講座Ⅱ 「プラスチックのリサイクル～発泡スチロールでスタンプをつくろう～」	押谷 一 中谷 暢丈	1,000円	50名	16名
8月24日(土)	人と動物の素敵な関係講座Ⅲ 「野生動物医学入門講座第4回 鳥類医学教育の現状&警戒すべき野鳥感染症」 「犬や猫の献血 ～わんちゃんねこちゃんにも血液型があるって知ってますか?～」	浅川 満彦 大橋みゆき	1,000円	30名	27名
8月31日(土)	人と動物の素敵な関係講座Ⅳ 「人とペットのQuality of Life(QOL)を考える！」	佐野 忠士	1,000円	30名	29名
9月 7日(土)	気象学講座 「天気予報の見方と防災・減災への取り組み」	馬場 賢治	1,000円	30名	40名
9月28日(土)	ドローン講座 「ドローンを飛ばして空から大地をみてみよう」	金子 正美	1,500円	15名	13名
10月19日(土)	人と動物の素敵な関係講座Ⅴ 「ちょっと気になる動物のくすり～人との違いと共通点～」	城下 輪子 小林 絢	1,000円	30名	32名
11月 2日(土)	今日から役立つ食育講座 「カラダとココロの健康ごはん」	杉村留美子	2,000円	30名	17名

開催日	講座名	講師	受講料	定員	受講者
11月9日(土)	バキバキ筋トレ講座 「スポーツで活躍するための筋トレ講座(第1回)」(高校生対象)	柴田 啓介	1,000円 (全2回)	20名	25名
11月16日(土)	やさしい運動健康講座 「測って動いて楽しい健康講座～体格・体組成と身体活動～」	山口 太一 多賀寿未代	1,000円	30名	30名
12月7日(土)	獣医の卵たちによる勉強会 「爬虫類・鳥類を知ろう(前編)」	浅川 満彦 学生4名	無料	50名	32名
12月8日(日)	獣医の卵たちによる勉強会 「爬虫類・鳥類を知ろう(後編)」	浅川 満彦 学生4名	無料	50名	30名
1月11日(土)	バキバキ筋トレ講座 「スポーツで活躍するための筋トレ講座(第2回)」(高校生対象)	柴田 啓介	—	20名	25名
2月22日(土)	家庭菜園講座 「おいしいマメ類とジャガイモの作り方」	義平 大樹	1,000円	50名	46名



パソコン講座は次回継続を望む声も



江別に熊が出没したため大盛況の野生動物講座



園芸学講座初の百合が原公園での講座は大好評



附属動物医療センター見学では質問が殺到



定員を上回る人気の気象学講座



ドローン講座ではドローンを使用して記念撮影



普段できない薬剤師体験に大満足



お弁当付きの食育講座は笑顔で終了



初の高校生対象の筋トレ講座

酪農公開講座【延べ173名】

本学の研究成果を直接酪農家へフィードバックすることを目的に、北海道内および都府県で各1回全国の酪農生産者や酪農関係者を対象とした、「酪農公開講座」を開催しています。2019年度は第57回を北海道湧別町で、第58回を千葉県成田市および館山市で開催しました。

開催日	講座名	講師	開催地	定員	受講者
10月18日(金)	第57回酪農公開講座『酪農を未来へつなぐ』 「酪農経営の動向とこれからの家族酪農」 「乳牛の繁殖成績向上について」 ～特に分娩前後の栄養状態の推移と繁殖成績の関係～	吉野 宣彦 堂地 修	湧別町	150名	63名
12月11日(水)	第58回酪農公開講座『乳牛の繁殖から子牛の管理まで』 「高泌乳牛の繁殖成績の現状と受胎率向上について」 「離乳前後の子牛の管理について」	西寒水 将 福森 理加	千葉県 成田市	90名	56名
12月12日(木)			千葉県 館山市	100名	54名

酪農学園大学公開講座【43名】

本学の研究成果を関係機関、全国の一般の方々に向けて発信することを目的に、都府県で「酪農学園大学公開講座」を開催しています。

開催日	講座名	講師	開催地	定員	受講者
12月14日(土)	第14回酪農学園大学公開講座『今、野生動物との関係を見直す』 「地域社会と野生動物の共存を目指して」 「クマ類の研究と管理～人材育成への取り組み～」	立木 靖之 伊藤 哲治	福岡県 福岡市	100名	43名

大動物継続教育合同セミナー【延べ193名】

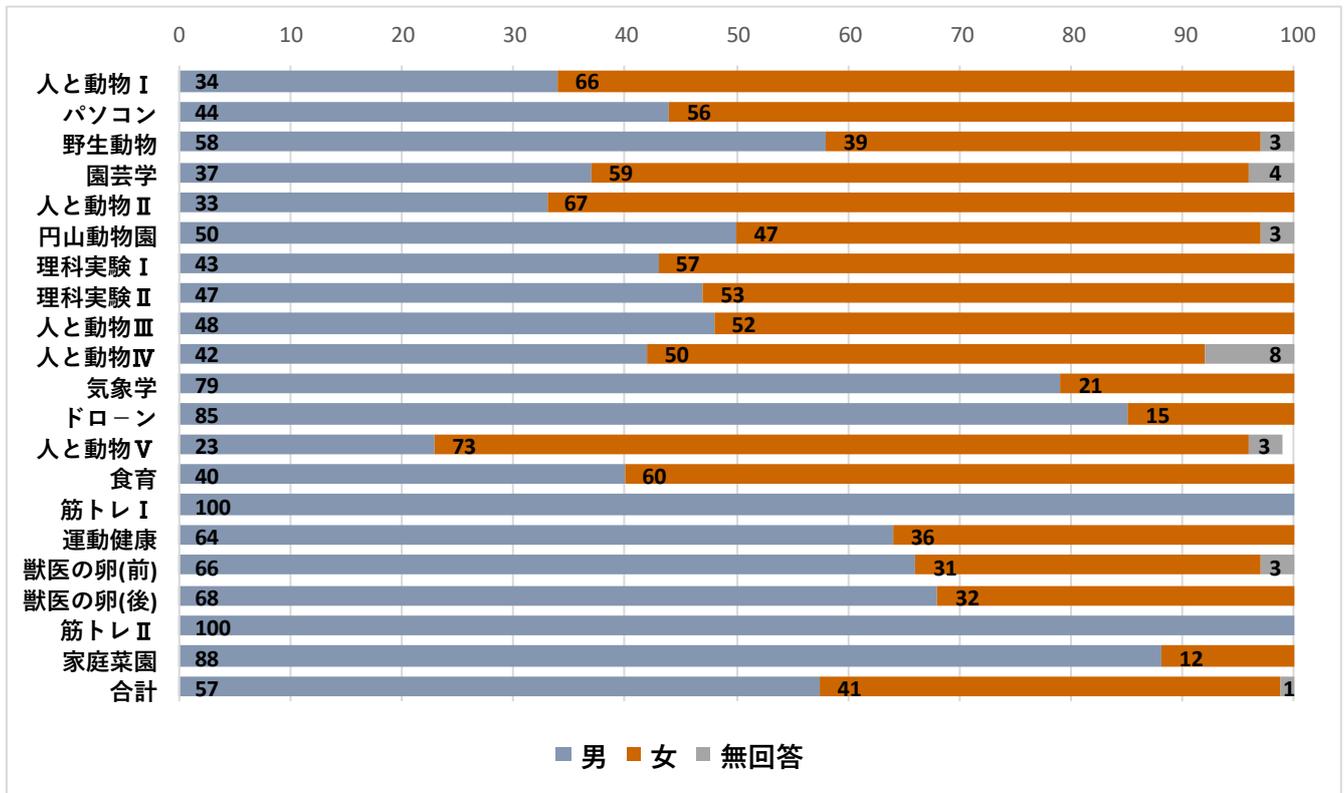
大動物臨床研究会との合同企画で、卒後臨床教育事業の一環として、獣医師、学生、関連企業を対象に、1日目に大動物臨床研究会主催の「大動物臨床研究会特別セミナー」を、2日目に「大動物臨床教育セミナー」を開催しています。

開催日	講座名	講師	受講料	受講者
5月17日(金)	第14回大動物臨床研究会特別セミナー 『生体防御から考える乳房炎』 「乳汁移行抗体は何を認識しているのか？」 ～乳腺免疫の由来と抗原特異性に迫る～ 「乳生産における乳房炎発生のからくり」	野地 智法 大塚 浩通	会員 3,000円	123名
5月18日(土)	第23回大動物臨床教育セミナー 『ウシの一生における管理 Part X～骨折を考える～』 「運動器の外科治療」 「創外固定による子牛の開放性肢骨折整復」 「牛の骨折～外固定～」	小野寺智洋 富岡美千子 佐藤 綾乃	非会員 5,000円	70名

酪農学園大学市民公開講座アンケート集計結果

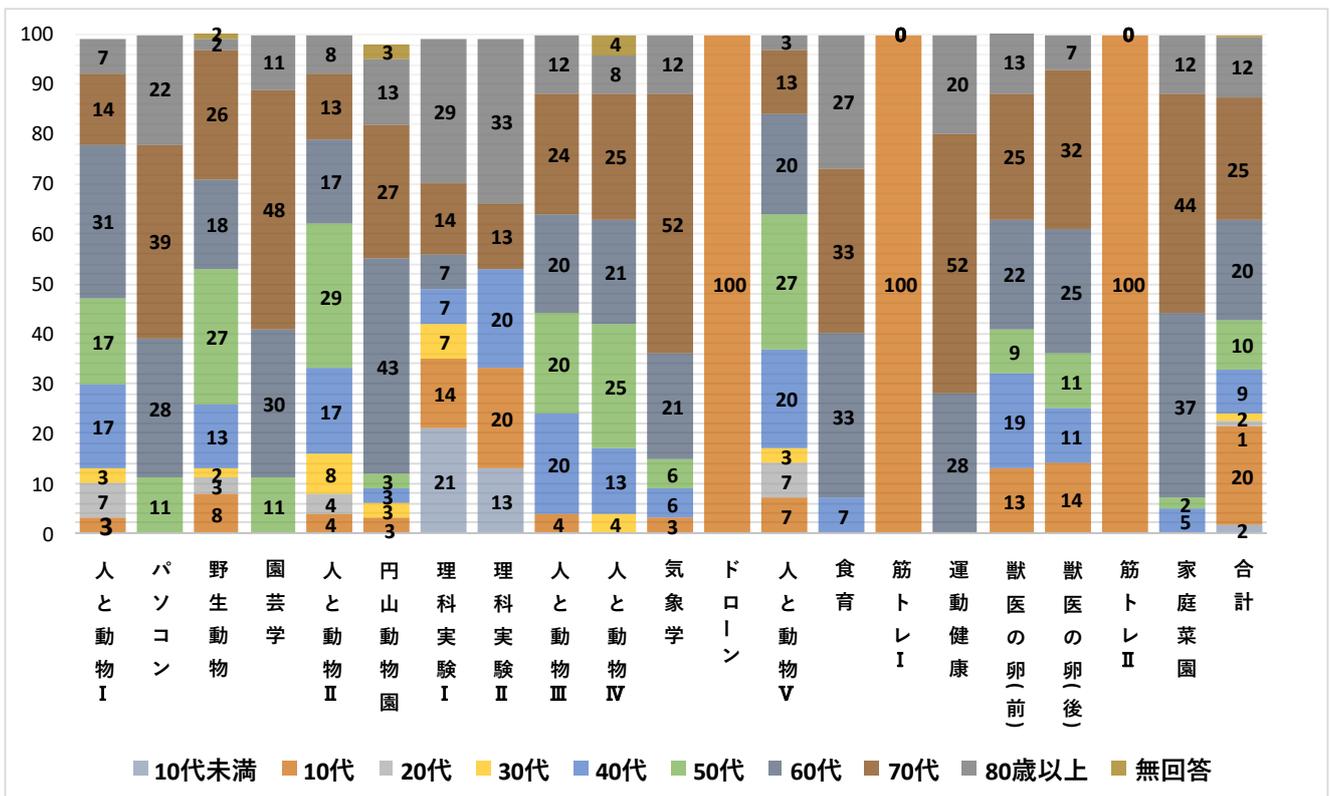
受講者男女比(回答者数533人)

%



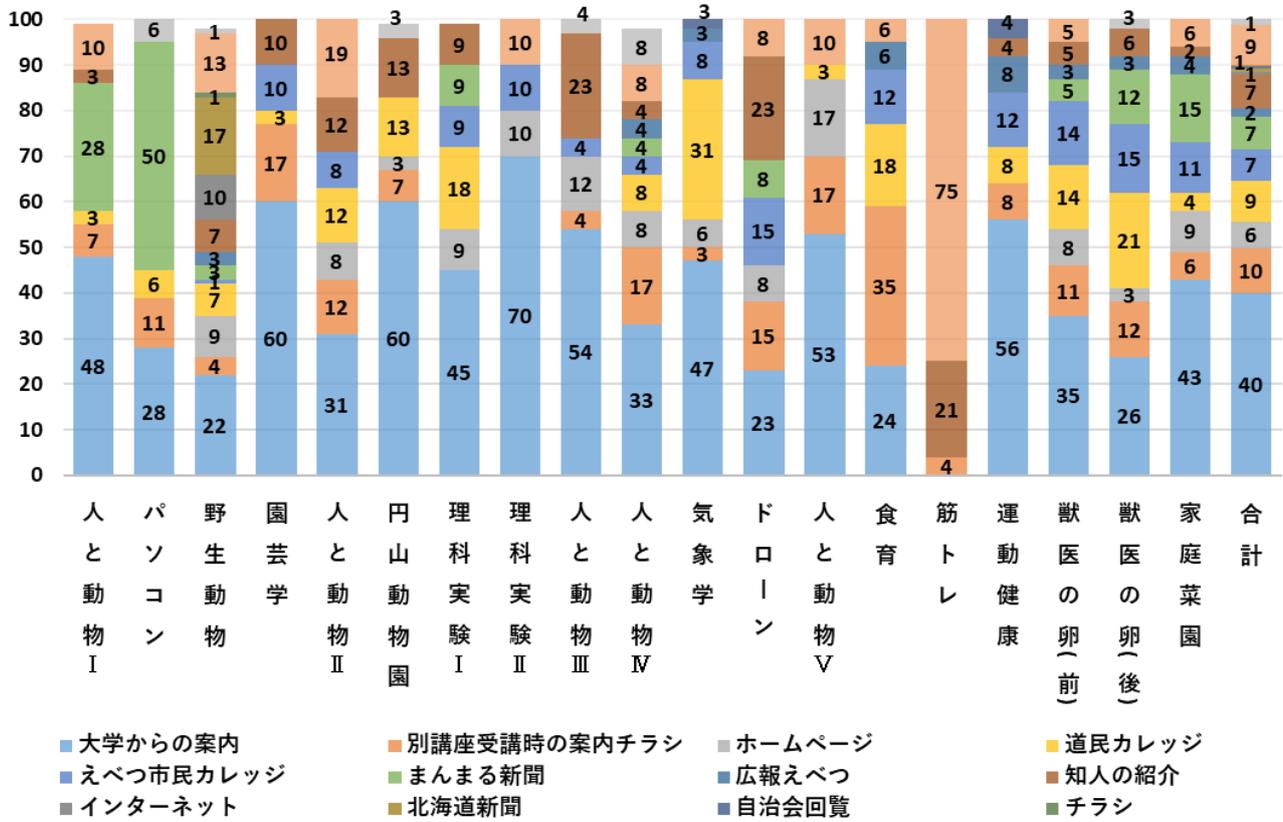
受講者年代(回答者数385人)

%



講座を知った媒体(回答者数412人)

%



講師満足度(説明:回答者数407人 資料:回答者数350人 内容:回答者数410人)

%

	説明						資料						内容					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
八百坂先生	79	17	0	0	0	3	69	21	3	0	0	7	79	10	3	0	0	7
森夏節先生	44	17	6	0	0	33	33	22	11	0	0	33	44	22	0	0	0	33
佐藤先生	69	10	10	2	0	10	65	15	10	0	0	11	65	18	5	2	0	11
森志郎先生	89	0	0	0	0	11	70	7	11	0	0	11	63	15	4	4	0	15
郡山先生	71	4	8	0	0	17	71	4	4	4	0	17	63	13	8	0	0	17
金子先生	80	13	3	0	0	3	37	30	17	3	3	10	60	30	3	0	0	7
岩野先生	100	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	20	80	0	0	0	0	20
玉利先生	100	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	20	70	0	10	0	0	20
押谷先生	90	0	0	0	0	10	90	0	0	0	0	10	80	10	0	0	0	10
中谷先生	90	0	0	0	0	10	90	0	0	0	0	10	90	0	0	0	0	10
浅川先生	52	16	4	0	0	28	40	12	8	8	4	28	48	16	4	4	0	28
佐野先生	79	8	0	0	0	13	71	13	4	0	0	13	67	13	0	4	0	17
馬場先生	52	18	9	12	0	9	52	15	12	12	0	9	42	27	21	0	0	9
金子先生	92	8	0	0	0	0	62	38	0	0	0	0	85	15	0	0	0	0
杉村先生	87	0	0	0	0	13	67	13	7	7	0	7	80	0	0	0	0	20
柴田先生	96	0	0	0	0	4	96	4	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0
山口先生	92	0	0	0	0	8	80	8	0	0	0	12	80	4	0	0	0	16
義平先生	56	27	7	2	0	7	68	17	5	0	0	10	63	22	0	2	0	12
全体	69	10	7	4	0	10	65	15	7	2	0	11	66	18	4	1	0	11

② 提携講座

栗山キッズクラブ 【21名】

2007年に栗山町と本学で締結された地域総合交流協定に基づき、栗山町より小学生が訪れました。本学教職コースの2年生が対応にあたり、以下のプログラムを実施しました。

開催日：7月7日(日)

プログラム：大学紹介、バター作り体験、キャンパス見学

参加者：小学生21名



③ 協力講座

第22回 元気！ミルク大学 【40名】

北海道牛乳普及協会とホクレン農業協同組合が主催の「元気！ミルク大学」を、3泊4日で開催しました。本学構内をキャンパスに、共同生活、共同作業を行い、最終日に卒業式・ミルク大使認定式を行いました。

開催日：8月9日(金)～8月12日(月)

参加者：小学5、6年生40名

プログラム

・ミルクについて考える講座

・酪農を学び体験する講座

・酪農を学び体験する講座

・乳製品の製造過程を学び、体験する講座

・食と健康について考える講座

講師：中辻 浩喜

講師：森田 茂/土井 和也

講師：清野 貴志

講師：栃原 孝志

講師：石井 智美



ふるさと江別塾 【51名】

大学の「知」を生かし、まちづくりや身近な問題の学習機会として、市内四大学が連携して実施する「ふるさと江別塾」を開催しました。講義終了後は、閉講式、修了証授与式を行いました。

開催日：10月26日(土)

主催者：江別市、江別市教育委員会

参加者：51名

講義1

「“草食系”は素晴らしい！！一緑の草から白い牛乳ができるまで」

講師：中辻 浩喜

講義2

「カルシウムだけでない牛乳の魅力」

講師：栃原 孝志



美唄サテライト・キャンパス 【延べ19人】

美唄サテライト・キャンパス運営協議会が主催となり、地域の大学、高校などが協力して、専門教育や高等教育を受ける機会を地元を用意することを目的として、酪農学園大学は2つの講座を開講しました。

開催日:7月6日(土) 【8人】

参加者:8名

人と動物の素敵な関係講座(※市民公開講座)

「ペットの防災:適切なしつけはこういう時にも役に立ちます」

講師:郡山 尚紀



開催日:8月10日(土) 【11人】

参加者:11名

会場:美唄尚栄高校

美唄の素材をいかす(美唄産農産物を使用)

～美唄の農産物を知って、美味しく食べる～

講義1

「アスパラガスとトマトのはなし(原産地・栽培の歴史・栄養価など)」

講師:園田 高広



講義2

「美唄の特産野菜と乳製品を使用した調理実習」

講師:宮崎 早花



えべつものづくりフェスタ 【延べ160人】

えべつものづくりフェスタ実行委員会が主催となり、江別市、市内の企業、団体、大学で取り組まれている「ものづくり」を市民に体験してもらうことを目的に実施されています。本学からは中小家畜研究会の学生6名が羊毛マスコット作りのスタッフとして参加しました。

開催日:9月7日(土)

参加者:160名

会場:北電総合研究所

「羊の毛でかわいいマスコットを作ろう」



えべつ健康フェスタ【延べ250人】

江別市が主催となり、誰もが健康で安心して暮らせるまちを目指すための取り組みの一つとして、本学の食と健康学類の山口太一准教授、木村宜哉助教と学生が参加しました。

開催日：10月6日(日)

参加者：250名

会場：野幌公民館

「骨密度測定・栄養相談」



以上、公開講座では、オープンアカデミー、提携講座、協力講座あわせて、**34講座、50講義**を開講し、**1,539名**に受講・参加いただきました。

(2) 地域総合交流事業

① 協定一覧

No.	協定機関	協定調印日	協定内容
1	浜中町	2005.02.24	地域総合交流
2	栗山町	2007.02.26	地域総合交流
3	西興部村	2007.05.21	地域総合交流
4	公益財団法人 道央農業振興公社	2007.10.31	地域総合交流
5	江別市 市内3大学 江別商工会議所	2009.02.05	包括連携
6	江別市・道総研 食品加工研究センター	2009.03.10	包括連携
7	北海道大学	2009.06.04	知財等連携
8	洞爺湖町	2009.07.29	地域総合交流
9	公益財団法人 北海道農業公社	2010.01.14	包括連携
10	北海道ホルスタイン農業協同組合 公益社団法人 北海道酪農検定検査協会 一般社団法人 ジェネティクス北海道	2010.02.19 (2013.02.19変更)	包括連携
11	ESRIジャパン株式会社 NPO法人Envision環境保全事務所 一般社団法人コンサベーションインターナショナルジャパン	2010.06.03	包括連携
12	公益財団法人 札幌市公園緑化協会	2010.08.18	連携協力
13	滝上町	2010.09.10	地域総合交流
14	北海道情報大学	2011.03.10	大学教育・研究連携
15	標茶町 標茶町農業協同組合 北海道標茶高等学校	2011.04.13	地域総合交流
16	公益財団法人 知床財団	2011.06.15	包括連携
17	占冠村	2011.06.06	地域総合交流
18	旭川市（旭山動物園）	2011.09.05	包括連携
19	遠軽町 湧別町 佐呂間町 オホーツク農業共済組合 えんゆう農業協同組合 湧別町農業協同組合 佐呂間町農業協同組合	2012.06.25 (2013.03.18変更)	地域総合交流
20	株式会社北海道銀行	2012.10.02	包括連携
21	札幌グランドホテル	2012.10.31	包括連携
22	北海道※ 学校法人酪農学園との協定	2014.10.30	包括連携
23	中標津町 中標津町教育委員会 中標津町農業協同組合 計根別農業協同組合 北海道中標津農業高等学校	2015.02.23	地域総合交流
24	北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部	2015.03.16	包括連携
25	札幌市	2015.07.09	連携協力
26	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	2016.01.29	連携協力
27	一般財団法人 北海道農業協同組合学校	2017.03.16	包括連携
28	北海道ワイン株式会社	2017.09.20	包括連携
29	生活協同組合コープさっぽろ	2017.09.21	包括連携
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	2019.02.22	包括連携
31	梨湖フーズ株式会社	2019.09.27	包括連携

② 協定実績

No.	協定機関	実績
2	栗山町	白樺祭に合わせて栗山町の小学生「栗山キッズクラブ」21名が来学し、本学教職コースが大学訪問交流プログラムを実施(7/7)
3	西興部村	野生動物保全技術実習
4	公益財団法人 道央農業振興公社	農産物集出荷体験
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	<p>えべつ健康フェスタ(10/6 山口先生、木村先生)</p> <p>えみくる第3者評価(井上先生)</p> <p>令和元年度第1回江別市環境審議会(2/13 吉田先生)</p> <p>江別市大学連携調査研究事業補助金(押谷先生 採択)</p> <p>令和元年度ふるさと江別塾(10/26 中辻先生、栢原先生)</p> <p>市民交流施設「ぶらっと」オープニングセレモニー(12/22)</p> <p>研修会講師の派遣(2/14 須賀先生)</p> <p>江別市空家等対策協議会委員の推薦(2019/3/22～2年間 押谷先生)</p> <p>江別市廃棄物減量等推進審議会委員の推薦(2019/7/1～2021/6/30 押谷先生)</p> <p>江別市経済審議会委員の推薦(2019/7/1～2021/6/30 井上先生)</p> <p>江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会委員の推薦(2020/1/6～1年間 金子先生)</p> <p>江別市平和のつどい(7/17)</p> <p>江別市大学連携事業報告会にて2018年度実施報告(7/11 小林先生、押谷先生)</p> <p>令和元年度「えべつ市民環境講座」の講師派遣(9/25 佐藤(喜)先生)</p> <p>江別市公務災害補償等審査委員の推薦・承諾(2019/10/1～2022/9/30)</p> <p>農山漁村振興交付金に係る事後評価報告</p> <p>令和元年度江別市特別職報酬等審議会(1/30)</p> <p>江別市環境マネジメントシステム内部環境監査員養成研修(2/3 本田先生)</p> <p>令和元年度江別市都市提携委員会、常任委員会</p> <p>令和元年度江別市民検証推進協議会総会(5/21)</p> <p>令和2年新年交礼会(1/6)</p> <p>江別市環境経営普及セミナー(本田先生)</p>
6	江別市・食品加工研究センター	<p>美味しい江別ナイト2019へ本学の「健士健民バター」2kgを提供(10/16)</p> <p>アグリビジネス創出フェア in Hokkaido 「北海道の食と農の明日へ」出展(2019/11/15～16)</p>
8	洞爺湖町	<p>旧成香小学校等の施設を借り、様々な実習に使用</p> <p>洞爺湖町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員の推薦(吉田先生)</p> <p>受託研究(シカ生息数調査、ウチダザリガニ採捕個体分析等)</p> <p>洞爺湖町まちづくり審議会委員の委嘱(2020/2/25～2022/2/24 吉田先生)</p>
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、公益社団法人北海道酪農検定検査協会、一般社団法人ジェネティクス北海道	<p>中央・内部審査研究会への資材及び人的支援</p> <p>学内発表用ポスター制作</p> <p>総合畜産共進会への花摘み隊派遣(9/28～29)</p> <p>北海道ブラックアンドホワイトショウへの花摘み隊派遣(5/25～26)</p> <p>第17回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」の臨席(9/28～9/29)</p> <p>2019年度北海道検定指導士認定講習会講師の派遣(6/25 中田先生、6/26 三枝先生)</p> <p>道産食品独自認証制度(NC)官能審査の依頼(2/21 寺脇先生)</p> <p>北海道ホルスタイン農業協同組合、公益社団法人北海道酪農検定検査協会、一般社団法人ジェネティクス北海道より講師派遣</p>

No.	協定機関	実績
12	財団法人 札幌市公園緑化協会	「夏休み平岡公園にぎわいフェスタ」において理科実験ブースを出展 百合が原公園ユリ展における酪農学園コーナーの設置、技術指導 2019年度市民公開講座へのご協力(百合が原公園)(6/30)
17	占冠村	占冠村猟区管理運営委員会委員の派遣(6/5 伊吾田先生) 職員の講師派遣(2/11 佐藤(喜)先生、伊藤先生) 村会議員が本学を視察、講演参加(6/24)
19	遠軽町、湧別町、佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	遠軽町の保健福祉課(総合保険福祉センターげんき21)にて、公衆栄養学実習Ⅱの科目として5日間の実習を実施(8月) 獣医学類5年生39名、看護学類4年生2名、教員13名がNOSAI診療に参加 遠軽町にて「夏休みサイエンス講座inチビッツリーダー研修」の実施 湧別町にて「第57回酪農公開講座」を実施(10/18)
21	札幌グランドホテル	8月に本学で収穫会、試食会を実施(8/28 森(志)先生、亀岡先生、園田先生) 収穫物のレストランでの利用(4~5月、7~8月アスパラガス、6~8月 トマト、コールラビ 園田先生) 実習等の講師依頼(10/1,29日 堂地先生 10/9 宮崎先生)
22	北海道	北海道みんなの日 食育月間啓発活動協力(ポスター掲示)(6月) 食品ロス削減月間啓発活動協力(ポスター掲示)(10月) ほっかいどう応援団会議へ参加 協定締結から5周年が経過し、北海道包括連携協定企業交流会にて感謝状授与(11/7) 早来食肉衛生検査所職員による講義(9/30)、検査所での実習(10/2~12/18) 本学獣医学群3年生約140名に対し、北海道の公衆衛生行政について北海道保健福祉部健康安全局職員による講義(1/7) エゾシカの病理検査依頼(2019/4/1~3/31 松田先生) エゾシカ肉処理施設認証検討会構成員への就任(~2020/3/31 村松(康)先生) 令和元年度ヒグマ保護管理人材育成研修会に係る講師依頼(10/31~11/1、11/6~11/7 佐藤(喜)先生) エゾシカ対策有識者会議及びエゾシカ管理の在り方検討部会次期構成員としての出席(2020/4/1~2022/3/31 伊吾田先生) 令和元年度スポーツドクター等派遣事業依頼(山口先生) 令和元年度第1回、第2回北海道教員育成協議会専門部会の開催(12/13、2/13) 北海道農商工等連携事業・農商工等連携支援事業評価委員及び農商工等連携対策支援補助事業評価委員会評価委員の委嘱、発令(~2021/3/31 石井先生) 北海道植林の日・育樹の日制定記念北海道・木育フェスタ2019「道健康森づくりの集い」の開催に係る協力(9/8 松山先生) 令和元年度GIS研修会開催に係る施設借用並びに講義(8/29~29 金子先生) 「北海道農業ICT/IoT懇談会」への参加(2019/7~2020/3 小川先生) 循環資源利用促進施設設備整備費補助事業評価意見聴取会評価委員への就任(本田先生) 令和元年度科学技術振興に関する釧路地域懇談会における取組事例紹介(9/3 金子先生) ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想に係る活用イメージに関する懇談会への参画依頼(金子先生) 令和元年度元気なふるさとづくりミーティング(オホーツク地区)の開催(10/25 井上先生) 「第6回ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」アドバイザー(1/31 井上先生) 北海道ゼロ・エミ大賞選考懇談会委員への就任(2月中旬 佐藤(和)先生) 北海道環境審議会専門委員の就任(12/24 吉中先生) 北海道食の安全・安心委員会特別委員の就任(発令~2年間 船津先生) 令和元年度第11回、12回、13回北海道食の安全・安心委員会遺伝子組換え作物交雑等防止部会の開催(7/24、1/9、2/6 船津先生) 令和元年度第1回北海道農業・農村振興審議会の開催(8/2 堂地先生)

No.	協定機関	実績
22	北海道	令和元年度家畜保健衛生総合検討会参加(10/24 及川先生) 北海道地方薬事審議会委員就任(任命日～2年 寺岡先生) 令和元年度畜産保健衛生所病性鑑定技術検討会(細菌部門)への講師派遣(12/18～19 内田先生) コロナウイルスに関する知事からのメッセージ、情報発信
23	中標津町、中標津町教育委員会、中標津農業協同組合、計根別農業協同組合、北海道中標津農業高等学校	酪農学園大学出張セミナー講師派遣依頼(11/20～21 飛谷先生) 中標津セミナー開催(8/30 義平先生、深澤先生) ミルク産業活性化推進事業アンケート調査(8/30 柴田先生)
25	札幌市	本学学生から5名を円山動物園ヘインターンシップを派遣 「デートDV(若者の間で起こる暴力)防止講座」に係る講師派遣(10/8～9、12/4 須賀先生) 栄養教諭、栄養士研修会講師の派遣(6/25 小林先生) 「教員を志望する学生を増やすための懇話会」の参加(7/22 飛谷先生) 動物園条例検討部会委員への就任(～約1年間 遠井先生、金子先生) 市民動物園会議委員の委嘱(2019/10/1～2021/9/30 吉中先生) 令和元年度北海道・札幌市公立学校教員採用に関する協議会参加(12/25 玉利先生) 市民公開講座実施(円山動物園)
26	地方独立行政法人 北海道立研究機構	連携会議実施(7/26) 本学で利用しているリサーチマップの活用方法について、情報提供を実施 本学の獣医学類1～5年生に向けて会社説明会を実施 教員2名が外部有識者として会議へ出席(三枝先生、中辻先生) 研修生等の受入(6/10～11/30 8名 三枝先生) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究評価委員会専門委員就任(船津先生) オープンフォーラムに関する情報を学内へ発信
27	一般社団法人 北海道農業協同組合学校	「第1回新任理事(1年目)研修」の講師派遣(11/13、12/18 糸山先生)
28	北海道ワイン	酪農学園大学ワイン2019製造、販売
29	生活協同組合コープさっぽろ	健土健民牛乳をコープさっぽろ5店舗で販売(7月～) 親子向けアイスクリーム作り、時短料理のレシピ提供、料理作り、各種栄養計算の依頼を受ける。(石井先生) 管理栄養士コースの学生向けにコープさっぽろより講演 コープさっぽろが主催するSDGs推進プラットフォームへ参加
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	石狩地区農業共済組合北部家畜診療センターにて研修実施(2019～2020年 権平先生) 動物衛生学総論にて北海道NOSAI家畜部 吉田部長より講義(12/24) ハードヘルズ学にて北海道NOSAI研修所 鈴木係長より講義(5/27) NOSAI研修所にて会議(6/28) 2019年度の実績、2020年度の活動について会議実施(12/26) 北海道NOSAI家畜部 佐々木技師補より、JICA研修員への農業共済制度に関する研修実施(4/17) 北海道NOSAI家畜部 土井技師補より獣医療提供体制整備推進総合対策事業における理解醸成のための講習会実施(11/6) 北海道中央農業共済組合 大倉家畜部長(12/3)、石川所長より講義(10/5、29、11/12) 獣医学類で4名の研究生を受入(十勝NOSAI、中央NOSAI、みなみNOSAI、北海道NOSAI研修所)
31	梨湖フーズ株式会社	協定締結式(9/27) 徳寿野幌店で本学肉畜生産ステーション黒毛和牛を限定販売(11/1) 就職説明会の実施 2020年度採用として本学より1名、徳寿ファームへの内定が決定

③ 高大連携協定一覧及び講義・講座

No.	協定高校	協定調印日	協定内容
1	北海道清水高等学校	2008.02.18	高大連携事業
2	北海道士幌高等学校	2008.07.31	高大連携事業
3	北海道札幌東高等学校	2009.03.06	高大連携事業
4	札幌市立高等学校9校	2009.03.16	高大連携事業
5	北海道岩見沢農業高等学校	2013.03.25	高大連携事業

講義・講座

札幌東高等学校

2009年に協定を締結し(2017年に更新)、例年定時制の生徒を対象に、本学環境共生学類の教員7~8名が現地で「環境講座」を実施している。

日時	所属	講師	テーマ
6月4日(火)20:30~21:15	環境共生学類	鈴木 透	「動物のストレスを測定してみる」
6月11日(火)20:30~21:15	環境共生学類	伊吾田 宏正	「エゾシカの生態について」
7月9日(火)20:30~21:15	環境共生学類	吉田 磨	「科学を使って、地球を知ろう ~世界の科学者と同じ現場を体験~」
10月8日(火)20:30~21:15	環境共生学類	押谷 一	「海洋プラスチック問題と私たちにできること」
10月29日(火)20:30~21:15	環境共生学類	保原 達	「物質循環とは？」
11月12日(火)20:30~21:15	環境共生学類	中谷 暢丈 (学生8名引率)	「学生による研究紹介」
11月19日(火)20:30~21:15	環境共生学類	中谷 暢丈 (学生1名引率)	「学生による研究紹介」
12月3日(火)20:30~21:15	環境共生学類	星野 仏方 (他2名)	「なぜシラカバの木が立ち枯れてしまうのか？」 「オオカミの糞と奮闘してわかったこと」
12月3日(火)21:05~21:15			修了式(修了者15名に対して修了証を授与)

札幌開成中等教育学校

コズモサイエンス科における「先端科学持論」にて本学の教員を派遣し、授業を実施している。

実施日	所属	講師	テーマ
7月27日(土)	環境共生学類	金子 正美	「GIS技術について」
8月24日(土)	循環農学類 食と健康学類 食と健康学類 獣医学類 獣医学類 獣医学類	佐藤 元昭 藤崎 智仁 岩崎 川靖洋 長谷 弘美 植田 敬文 渡邊 敬文 細谷 実里	「電子顕微鏡の使い方」

④ 中標津出張セミナー

中標津町の各団体との協定に基づき、中標津農業協同組合、計根別農業協同組合、中標津町教育委員会と本学が共催で「酪農学園大学出張セミナー」を開催しました。

セミナーは酪農に関する日頃の課題や、町民の方々が興味を持っているテーマに応えることを目的に**74名**の方に参加いただきました。

開催日：8月30日(金)

参加者：午前の部**50名** / 午後の部**24名**

会場：中標津町総合文化会館「しるべつと」

午前の部

「農福連携の基礎知識と畜産における農福連携の可能性」

講師：義平 大樹

午後の部

「世界の食料が『生ゴミ』に

ー食品廃棄・ロスと食品産業、消費者の行動ー」

講師：深澤 史樹



⑤ 動物愛護フェスティバル

江別市小動物開業獣医師会と本学が主催で、9月22日に「動物愛護フェスティバルinえべつ」を開催しました。

2019年度は「高齢動物との暮らし」をテーマに、第一会場には22のブースを、第二会場には10のブースを設置し、過去最高の**約6,600名**の方にご来場いただきました。

《イベントスケジュール》

第一会場

ドッグダンスショー

セラピー犬模擬適正検査

マイクロチップ挿入実演

ダンプレ

愛犬のためのマッサージ体験

第二会場

ドッグアジリティーの実演と体験

クイズ大会

ディスクドッグのデモンストレーション

わんわん運動会(ドギーダッシュ)



⑥ 江別ホルスタインショウ

江別市との連携協定に基づく取り組みとして、江別ホルスタインショウの実行委員会として参加しています。

「江別ホルスタインショウ」では本学より、学長賞の贈呈を行いました。

開催日：7月13日(土)

場 所：江別市農村広場



⑦ 札幌グランドホテル

札幌グランドホテルとの連携協定に基づく取り組みとして、収穫体験会を行いました。本学の学生約30名とホテルスタッフ5名が参加しました。収穫作業後は試食会が行われました。

開催日：8月28日(水)

参加者：約35名



⑧ 美味しい江別ナイト

江別市が主催となり、江別市で生産されている食材の魅力を首都圏の食関連事業者等に知ってもらうことを目的とした、「美味しい江別ナイト2019」が開催され88名が参加しました。

本学から提供した健土健民バター2kgを利用した、江別産食材を使ったディナーが振る舞われました。

開催日：10月16日(水)

参加者：88名

会 場：ブラスリーポール・ボキューズ銀座



⑨ コープさっぽろ

コープさっぽろとの連携協定に基づき、本学の理念である健土健民という考え方を多くの方に知っていただくことを目的に、「健土健民牛乳」を学外で販売しました。

7月11日に午前9時からコープさっぽろLucy店で**100本**販売し、**約1時間半**で完売しました。

現在は、**Socia店、野幌店、Lucy店、川下店、平岡店、えべつ店**の6店舗で販売しています。



販売店舗	各週販売個数	納品本数	販売総数	入荷から完売までの平均日数 (※1)
LUCY	32本 (25本 ※2)	1,142本	1,140本	約 2.76日
Socia	15本 (20本 ※2)	490本	490本	約3.02日
平岡	15本 (15本 ※2)	510本	508本	約3.47日
川下	8本 (10本 ※2)	268本	268本	約3.17日
野幌	20本 (15本 ※2)	650本	650本	約3.44日
えべつ	10本 (15本 ※2)	340本	340本	約 3.52日
合計	100本	3,400本	3,396本	約3.23日

※1 完売しなかった週は完売まで7日として計算している

※2 販売開始(7月11日LUCY店での牛乳販売を除く)から2週間目までの各店入荷本数

⑩ 北海道

道との連携協定に基づき、食育の普及・啓発の取り組みとして、食育月間のPR及び食育の普及啓発するため、学園ホール1階にブースを設置しました。

ブースには食育関連のポスターやチラシなどを置いてPRしました。

設置期間:6月10日(月)~6月14日(金)



(3) ミルク産業活性化推進事業

① プラスワン牛乳運動

健土健民牛乳・酪農アイス配布数

開催日	イベント	健土健民牛乳	酪農アイス	バター(1kg)
5月29日～31日	春の食生活改善週間	500本	—	—
7月6日	One World One Health研究会	70本	70個	—
7月6日～7日	第23回白樺祭	100本	—	—
7月7日	栗山キッズクラブ	—	40個	—
7月31日～8月1日	ひらめき☆ときめきサイエンス	—	100個	—
9月14日	社会福祉法人長井学園 法人祭	100本	—	—
9月22日	動物愛護フェスティバル(ダンプレ)	—	56個	—
10月11日	美味しい江別ナイト2019	—	—	2個
10月30日～11月1日	秋の食生活改善週間	500本	—	—
11月17日	第40回吹奏楽団定期演奏会	100本	—	—
合 計		1,370本	266個	2個

② ひらめき教室

本学で行っている教育、研究成果について、直に見る、聞く、触れることで、科学の面白さを感じてもらおうプログラムを1泊2日で開催し、小学5・6年生**38名**が参加しました。

開催日：7月31日(水)～8月1日(木)

参加者：**38名**

参加費：5,000円

プログラム

◎1日目 講義

「ウシの体を知ろう」

「ウシの中で牛乳ができるまで、乳はなぜ白いのか」

「ウシのおなかの微生物を見てみよう」

「バイ菌をやっつけろ」

「獣医さんの一日」

調理実習

ウシの乳しぼり体験

ナイトレク

◎2日目

ウシのお医者さん体験

附属動物医療センター紹介・見学

岩野英知

樋口豪紀

岡本英竜

岩野英知

佐藤綾乃

石井智美

泉 賢一

浅川満彦

加藤敏英

安藤達哉

廉澤 剛

上野博史



③ ミルク産業活性化推進事業（学類）

循環農学類 柴田啓介助教

「北海道内の酪農従事者を対象とした健康運動教室」

中標津町の酪農家を対象として体力測定、体組成測定や健康状態について聞き取り、その結果をフィードバックするとともに、健康増進のための運動指導を行う予定でした。

2019年8月、9月、10月に中標津町で行われたイベントにおいて、中標津町の酪農家88名と酪農家以外87名の175名を対象に生活習慣病や健康状態に関するアンケート調査を行いました。詳細については、今後実施予定の健康運動教室でフィードバックするとともに、健康増進のための運動実践に役立てていきます。



食と健康学類 長村智幸講師

酪農学園大学×COCOBONコラボ企画

「冬に食べたいアイスクリームアイデアコンテスト」

アイスクリームの消費拡大を目的として、酪農学園大学、附属とわの森三愛高校の学生、生徒を対象としたアイスクリームアイデアコンテスト(限定アイスメニュー開発事業)を行い、187件の応募がありました。その中から最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞1点を選出し、2020年1月14日に授賞式を行いました。

最優秀賞に選ばれた「いちご大福ソフト」は2020年1月15日～2020年2月24日までの期間、COCOBONで販売されました。店舗では、1月・2月ともに16種のソフトクリームメニューの中で販売個数第1位でした。



最優秀賞のいちご大福ソフト



最優秀賞 長谷川さん(循環農学類4年)



優秀賞 林さん(とわの森機農コース1年)



優秀賞 鈴木さん、岡田さん(食と健康学類1年)



特別賞 佐藤さん(食と健康学類1年)



受賞者

(4) その他

① サンサンキッズ

大麻地区の小学生(小学1年生～5年生)を対象とした放課後児童クラブ「サンサンキッズ」約50名を受け入れ、酪農体験学習を行いました。

実施日:7月31日(水)

参加者:約50名

プログラム

- ・酪農生産ステーションで搾乳、ブラッシング体験
- ・ローンで昼食、遊戯、酪農アイス

② 羽幌町(協定締結希望)

羽幌町との連携事業で焼尻めん羊牧場飼育環境向上のため、循環農学類関係職員及び学生24名の派遣を行いました。また、羽幌町からの要請により、草種構成と土壌養分含量を調査して、町営めん羊牧場における草地の生産性を把握することを目的に、循環農学類の三枝先生が草地調査を行いました。

実施日: 4月26日(金)～28日(日)	山田 弘司教授 学生9名	草地調査: 5月25日(土)草種構成調査
5月10日(金)～12日(日)	中辻 浩喜教授 学生9名	8月19日(月)土壌断面調査
2020年2月7日(金)～9日(日)	山田 弘司教授 学生6名	9月15日(日)土壌堆肥沃度調査
		11月28日(木)草地調査報告会

③ 雪印メグミルク株式会社

雪印メグミルクでは、例年新入社員に酪農教育として研修を実施しています。本学では、教育の場として新入社員研修を受け入れています。本事業の受入から協定締結に繋げていきたいと考えています。

2020年度については、採用数の関係で全3回で実施する予定です。研修内容については、今後打合せ等で確定していきます。

実施日:全4回

9月 5日(木)～ 6日(金)、9月10日(火)～11日(水)、9月12日(木)～13日(金)、9月18日(水)～19日(木)

参加者:33名

場 所:酪農生産ステーション

プログラム

《1日目》

オリエンテーション、大学紹介
雪印メグミルク職員による講義
牧場実習・牛舎管理
レポート作成

《2日目》

牧場実習・搾乳補助
雪印メグミルク職員による講義
バイオガスプラント見学
動物医療センター見学
雪印メグミルク職員による講義、研修まとめ
野副学長による講話・酪農研修等における質疑応答

④ 農場HACCP研究会

北海道農場HACCP研究会より、「第10回農場HACCP研究会」を本学で開催できないか依頼があり、研究会を実施しました。

実施日:9月17日(火)13:00～17:00

場 所:本学 中央館1階学生ホール

主 催:北海道農場HACCP研究会

共 催:酪農学園大学、北海道家畜畜産物衛生指導協会、北海道養豚生産者協会

後 援:北海道、公益社団法人北海道獣医師会

講 演

「農場HACCP～発展の要因と今後の展望～」

「農場HACCP認証取得から7年の軌跡～農場の進化～」

「酪農場における取組」

「肉用牛農場における取組」

「養豚場における取組」

赤松ファームクリニック 赤松 裕久

(有)藤井牧場 藤井 雄一郎

雪印種苗(株)釧路営業所 龍前 直紀

(有)長沼ファーム 森崎 睦博

(株)おおよファーム 大矢 智彰

⑤ アニマルウェルフェア畜産協会(協定締結希望)

アニマルウェルフェア畜産協会と協定締結に向けて打合せを行いました。今後、協定締結に向けて実績を作りをしていくことを決定しました。

本学が共催となり、シンポジウムを開催する予定となっていました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて延期となりました。

※新型コロナウイルス感染拡大により延期

実施日:2020年3月7日(土)13:00~17:30

場 所:本学 中央館1階学生ホール

主 催:アニマルウェルフェア畜産協会

共 催:酪農学園大学

後 援:公益社団法人北海道獣医師会、公益財団法人はまなす財団

テーマ:「アニマルウェルフェア認証商品は売れるのか？」

講 演:「アニマルウェルフェアの経済的意義について考える」

農食環境学群 循環農学類 教授 小糸 健太郎

「コブさっぼろにおける平飼い卵の取組み」

生活協同組合コブさっぼろ 商品本部 商品開発部 部長 高森 雄輔

事例報告① 帯広畜産大学 畜産学部 准教授 瀬尾 哲也(アニマルウェルフェア畜産協会代表理事)

事例報告② (株)もりもと 執行役員 松原 範宜

⑥ 北海道酪農技術セミナー2019

本学のアピールと酪農PLUS+の周知を目的として本セミナーにブースを出展しました。ブースには2日間あわせて約100名が訪れ、酪農公開講座のDVDや酪農PLUS+のチラシを配布しPRをしました。

運営事務局より2021年よりセミナーの主催を酪農学園大学に移管できないか打診があり、2020年は札幌で開催予定であり、事務局運営のサポートを行い、本学への移管が可能かどうかの判断をする予定です。

実施日:11月5日(火)~6日(水)

場 所:帯広市民文化ホール

主 催:北海道酪農技術セミナー



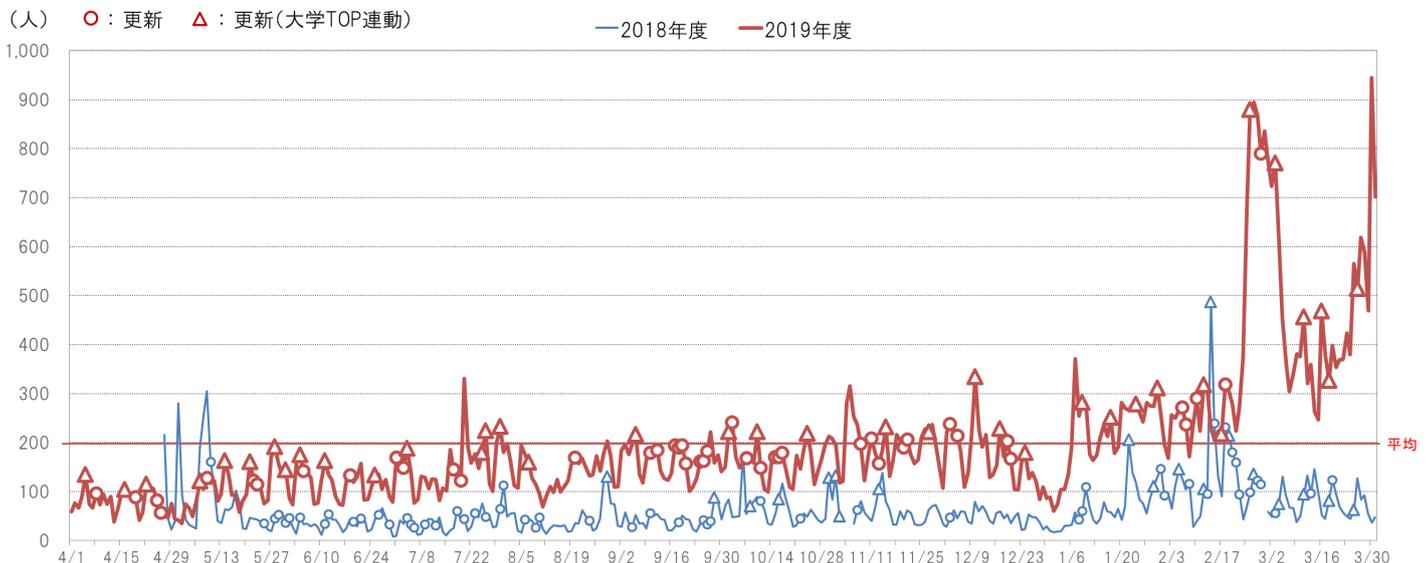
(5) 酪農PLUS+

① アクセス状況

※GoogleAnalyticsではすべてのユーザーの属性、環境などを判別することができないため、各項目の合計値は総アクセス数とは一致しない。

a. 日別アクセス状況

- 総アクセス数 **71,335人**(前年度+50,495人)
- 日平均アクセス数 **195人**(前年度+133人)
- 日最高アクセス数 **945人**(3/30 新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた2月下旬以降、アクセスが大幅に増加)



b. 地域別アクセス状況

都道府県別では東京都からのアクセスが最も多くなりました。全体に占める割合は、大阪、愛知、福岡などの府県が増加、北海道が減少しました。市区町村別では、大阪市、千代田区などからのアクセスが大幅に増加しました。

■ 国別

	国名	ユーザー数
1	日本	56,443
2	アメリカ	2,736
3	(不明)	148
4	台湾	104
5	韓国	68
6	オーストラリア	53
7	イギリス	52
8	カナダ	42
9	ドイツ	42
10	タイ	40

■ 都道府県別

	都道府県名	ユーザー数
1	東京都	14,107
2	北海道	10,262
3	大阪府	7,243
4	神奈川県	5,276
5	愛知県	2,442
6	埼玉県	1,562
7	福岡県	1,396
8	千葉県	1,291
9	兵庫県	1,250
10	宮城県	843

■ 市町村別

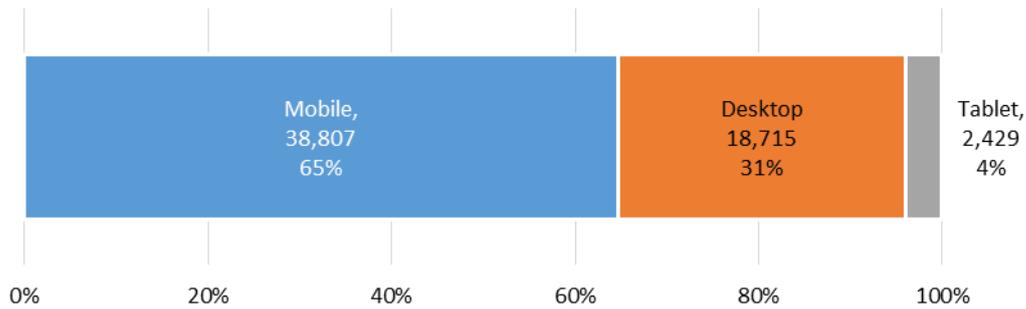
	市町村名	ユーザー数
1	大阪市	6,416
2	札幌市	6,085
3	横浜市	4,124
4	新宿区	3,893
5	千代田区	3,585
6	港区	2,897
7	名古屋市	1,726
8	江別市	1,264
9	福岡市	1,052
10	仙台市	700

■ 道内市町村別

	市町村名	ユーザー数
1	札幌市	6,085
2	江別市	1,264
3	帯広市	691
4	旭川市	316
5	釧路市	177
6	函館市	148
7	北見市	132
8	恵庭市	106
9	苫小牧市	95
10	中標津町	87

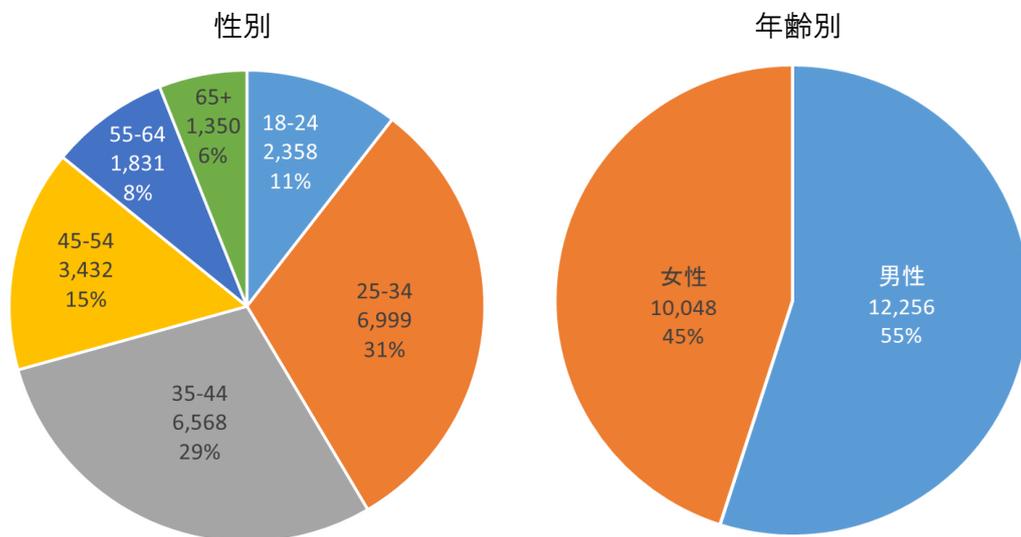
c. デバイス別アクセス状況

2018年度はモバイル、デスクトップの割合が同程度(47:46)でしたが、モバイルからのアクセスが大幅に増加しました。



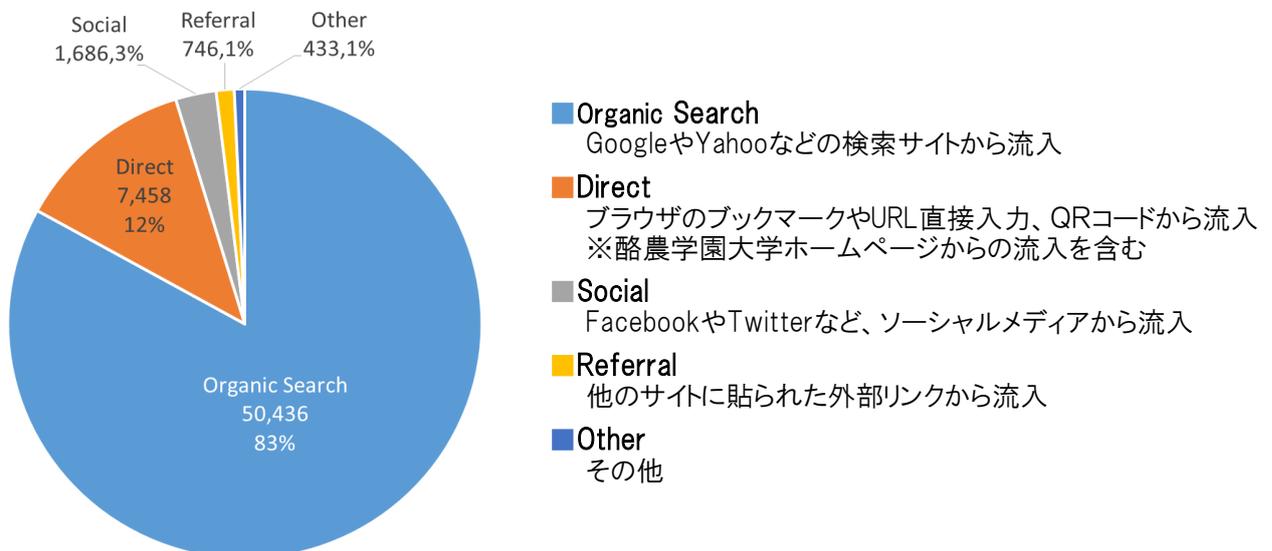
d. 年齢・性別アクセス状況

2018年と同様に20~40代の男性がメインユーザーとなっています。年齢構成は2018年度から大きく変化していませんが、性別では女性ユーザーの割合がやや増加しました(37%→45%)。



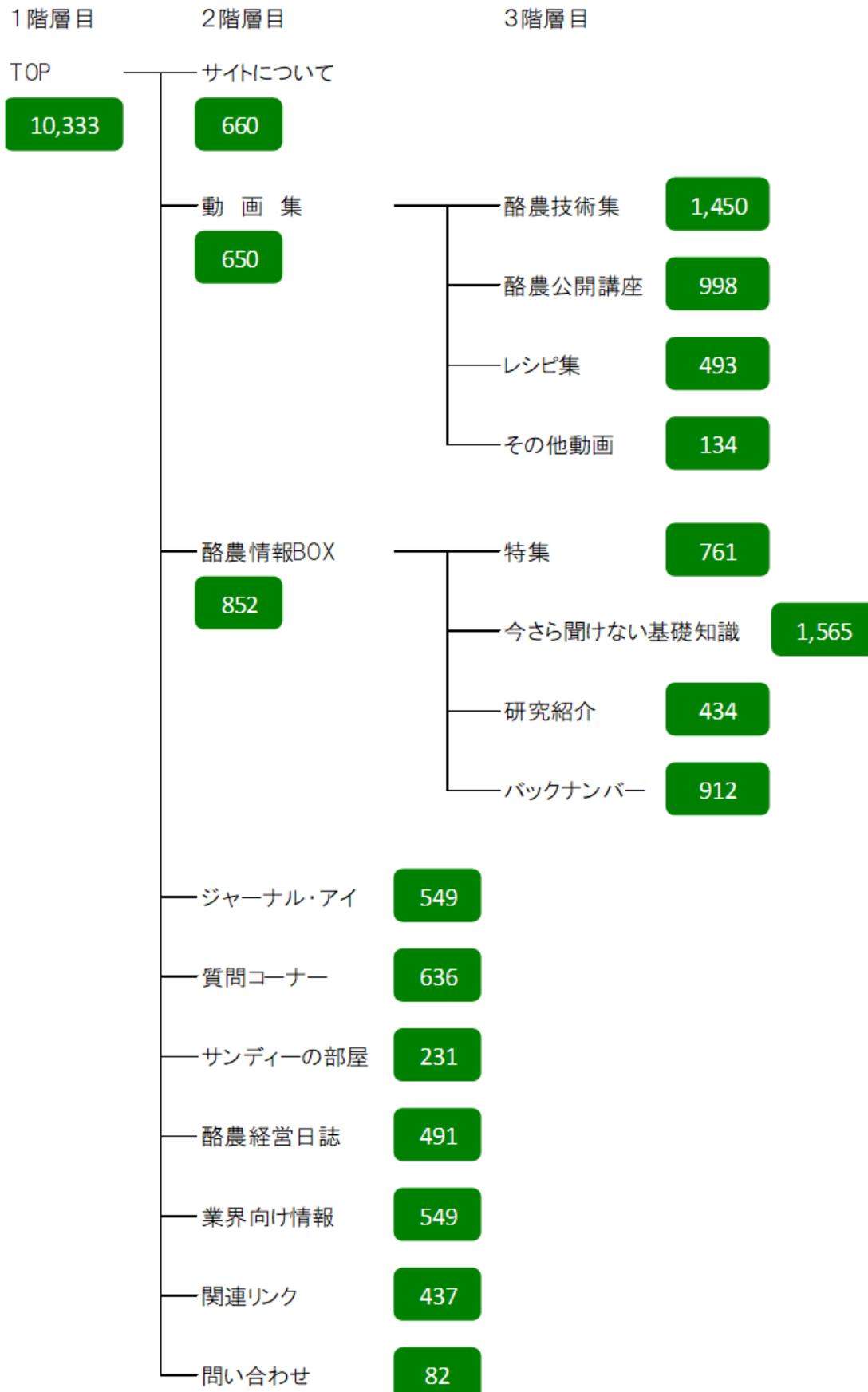
e. 流入経路別アクセス状況

検索サイトを経由する「Organic Search」からの流入が最も多く、2018年度と比較しても大幅に増加しました(48%→83%)。



f. ページ別アクセス状況（1～3階層）

トップページを含む1～3階層目のアクセス数は、2018年度より減少しました。しかしサイト全体のアクセス数は大幅に増加していることから、トップページを経由せず、検索サイトから目的のページに直接アクセスしているユーザーが多いと考えられます。このことは流入経路別アクセス状況からも読み取れます。



g. ページ別アクセス状況（動画集）

酪農現場で役立つ技術を動画で紹介する「酪農技術集」へのアクセスが多い傾向にありました。特に、利用頻度の高い「簡易頭絡」と「モクシ」を作るロープワーク動画へのアクセスが多くなりました。

酪農技術集

タイトル	公開日	閲覧数
牛の結び方～ロープ末端の処理～	18/4/27	296
牛の結び方～簡易頭絡～	18/4/27	1,940
共進会に向けた毛刈り～脚&肋編～	18/7/18	133
共進会に向けた毛刈り～尾&トップライン編～	18/7/26	110
共進会に向けた毛刈り～乳房編～	18/8/7	156
共進会での牛の引き方	18/8/10	356
牛の結び方～モクシの作り方～	18/11/2	1,551
牛の結び方～ロープの端に輪を作る～	19/1/22	757
牛の結び方～杭に繋ぐ～	19/2/19	606
牛の結び方～尾を結ぶ～	19/3/19	754
牛の結び方～途中に輪を作る～	19/3/26	428

酪農公開講座

タイトル	公開日	閲覧数
第51回「草地の雑草対策」	18/4/27	67
第51回「乳牛の哺育育成のポイント」	18/4/27	94
第53回「自動搾乳システムの現在と未来～乳牛・改良・配慮～」	18/4/27	87
第55回「北海道150年と酪農の歴史～パイオニアと地上の星のスピリットを今に～」	19/1/29	112
第55回「スマート酪農の展開～飼料生産、乳生産の省力化、自動化～」	19/2/12	120
第55回「スマート酪農の展開～ドローンや衛星画像技術の農地管理への利活用について～」	19/3/5	154

レシピ集

タイトル	公開日	閲覧数
抹茶ミルク	18/4/27	30
アップルポムポム	18/4/27	53
フレンチトースト	18/6/1	28
リンゴミルク	18/6/4	37
ミルクもちの作り方	18/8/28	39
ミルクもちパフェの作り方	18/8/28	8
フルーツ寒天パフェの作り方	18/8/28	6
牛乳プリンの作り方	18/8/28	46
牛乳寒天パフェの作り方	18/8/28	55
牛乳ゼリーとリンゴのキャラメリゼパフェの作り方	18/8/28	12
ギリシア風サラダの作り方	18/9/28	13
ブラマンジェの作り方	19/11/1	50
きなこミルクの作り方	19/2/5	42
ドイツグラタンの作り方	19/2/26	70
クルミミルクの作り方	19/3/12	106
ジャガイモの冷製スープの作り方	19/4/23	119
フライパンピザの作り方	19/5/7	153
ヨーグルトスープの作り方	19/5/14	119
キャロットコロツケの作り方	19/5/21	130
ベビーホタテのリカバリーカルボナーラ	19/5/28	188
筋肉モリモリ！ ささ身とクリームチーズのグラタン	19/6/4	252

その他動画

タイトル	公開日	閲覧数
紫アスパラガスとトマトの個性を活かしたホテルレシピの開発	18/6/19	54

h. ページ別アクセス状況（特集・連載）

閲覧数、PDFダウンロード数共に「乳房炎の原因と予防法」が最も多くなりました。2019年度に公開した特集では、6月の牛乳月間に合わせて公開した「体力向上のための運動と運動の効果を高める牛乳の摂取について」へのアクセスが最も多くなりました。

2019年度は、専門的な記事をより多く配信することを目的に、月刊誌「酪農ジャーナル」で連載されていた「飼料作物の生産と調製—理論と実際—」(全12回)の改訂版を全6回にわたって掲載しました。

☆PDFのダウンロードについて

簡単なアンケート(居住地、性別、年齢、職業)に回答することで、本文と図表を見やすく配置したPDFをダウンロードできる仕組みを導入しています(特集、連載、今さら聞けない基礎知識、研究紹介)。

特集

タイトル	掲載日	閲覧数	DL数
草地の土づくり	18/4/27	368	8
飼料給与と栄養管理	18/4/27	1,890	86
泌乳と搾乳の生理	18/4/27	501	21
牛の繁殖生理	18/4/27	2,199	40
乳房炎の原因と予防法 一病気の特徴と基本的な搾乳衛生一	18/4/27	4,676	101
草地の土づくり 一維持管理一	18/10/8	236	7
高泌乳牛管理の注意点とその栄養について	18/10/16	2,359	47
環境にやさしい牛の飼い方とは 一ルーメン環境を最適化すると環境負荷は低減する一	18/10/30	668	14
酪農経営を継続させるための繁殖のポイント 一繁殖で悩んだときの解決のポイント教えます一	18/11/13	362	12
草地の土づくり 一維持管理の基礎理論一	19/4/5	475	14
体力向上のための運動と運動の効果を高める牛乳の摂取について	19/5/31	928	4
酪農現場における暑熱対策	19/6/11	726	23
酪農におけるGGAPの取り組み	19/7/4	449	12
酪農におけるアニマルウェルフェアと現状	19/9/6	902	15
胎子死を防ぐための飼養管理技術 一特に冬場は注意が必要一	19/11/15	335	12
草地の土づくり 一施肥基準とは何か？一	19/11/27	284	9
子牛の免疫システムの成熟と感染症	19/12/10	603	23
高泌乳牛の繁殖成績の現状と受胎率向上について	20/1/9	442	19
乳牛の繁殖成績と分娩前後の栄養状態との関係(1)	20/1/24	339	19
乳牛の繁殖成績と分娩前後の栄養状態との関係(2)	20/1/24	235	16
乳用牛の生産性を高めるカウコンフォートに配慮した牛舎構造	20/2/12	298	12
酪農経営の動向とこれからの家族酪農	20/3/11	251	2
【連載】飼料作物の生産と調整—理論と実際—			
《第1回》自給粗飼料の重要性	19/4/16	451	8
《第2回》自給粗飼料生産	19/6/25	309	8
《第3回》飼料作物の調製利用～サイレージ発酵の理論～	19/8/7	597	21
《第4回》牧草の調製利用～サイレージ調製の基本と実際～	19/10/10	530	12
《第5回》トウモロコシサイレージ調製の基本と実際	19/12/24	236	11
《第6回》サイレージの品質評価法と好気的変敗	20/2/25	138	9

i. ページ別アクセス状況（今さら聞けない基礎知識・研究紹介）

今さら聞けない基礎知識「牛体測定」の閲覧数が最も多くなりました。他のウェブサイトや書籍などではまとめられていない内容を、初心者向けにわかりやすくまとめたものであることから閲覧数が伸びたと考えられます。「牛乳の殺菌方法」は、ミルクや大手乳業メーカーなどでも紹介されている内容を含んでいますが、検索サイトでも上位に表示されることから閲覧数が伸びたと考えられます。

今さら聞けない基礎知識

タイトル	掲載日	閲覧数	DL数
牛体測定	18/4/27	2,718	23
乳牛の飼養形態	18/4/27	938	18
飼料の種類	18/4/27	507	16
乳牛のステージ別呼称	18/6/4	884	50
牛の呼称(英語編)	18/6/26	1,190	8
乳牛の基本情報 ～採食量・排泄量・泌乳量～	18/7/6	951	27
ホルスタイン共進会	18/7/30	922	15
消毒薬の種類	19/2/18	377	19
乳牛の基本情報 ～歯～	19/2/25	896	15
牛乳の種類	19/3/14	566	10
牛乳の殺菌方法	19/3/20	2,152	28

研究紹介

タイトル	掲載日	閲覧数	DL数
北海道の公共牧場における牛消化管内寄生虫の感染状況と駆虫対策の実態	18/6/12	192	2
乳牛への飼料米給与が飼料摂取量、乳生産および牛乳の脂肪酸組成と“おいしさ”に及ぼす影響	18/7/12	247	3
離乳前後の子牛の管理について	19/2/14	1,009	25
牛乳房炎検査におけるCMT変法の再検証について	20/3/26	148	5

j. ページ別アクセス状況（ジャーナルアイ・質問コーナー）

専門性が高い質問よりも一般の方からの質問で閲覧数が多い傾向にあり、特にヨーグルトに関する質問で閲覧数が多くなりました。日本で新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた2月下旬以降は、様々なメディアでヨーグルトが免疫力を高める食品として取り上げられたこともあり、さらにアクセスが増加しました。

ジャーナル・アイ

タイトル	掲載日	閲覧数
酪農と聖書① 蹄が分かれ、反すうする牛は“清い動物”	18/11/2	117
酪農と聖書② 聖書において最も重要な動物は“牛”	18/12/5	74
酪農と聖書③ 神の前に謙虚であることが 牧畜に携わる人々の美徳である	19/1/8	52
酪農と聖書④ 「愛と感謝」をもって動物利用をするべき	19/2/5	104
酪農と聖書⑤ 避けて通れない「動物倫理」と「5つの自由」	19/3/4	109
酪農と聖書⑥ 必要とされる!“牛の都合”を想像する視点	19/4/10	91
酪農と聖書⑦ 高い倫理性はそれ自体が付加価値となる	19/5/9	82
酪農と聖書⑧ 宗教文化と動物倫理	19/6/18	79
酪農と聖書⑨ 歴史的な文脈の中の牛とそれに携わる人々	19/7/17	41
「栄養ワンダー2019 酪農学園大学」が開催されました	19/7/30	203
酪農と聖書⑩ 詩篇23篇にみる「動物倫理」	19/8/20	88
酪農と聖書⑪ 不作の収穫感謝祭	19/9/19	62
酪農と聖書⑫ 聖書における土と三愛精神	19/10/17	42
2級認定牛削蹄師認定講習会・認定試験が開催されました	19/10/24	192
世界の乳文化図鑑① 乳糖不耐症であるが故に“乳”を食べる人々	19/11/20	123
世界の乳文化図鑑② ラクダ乳の利用	19/12/17	93
世界の乳文化図鑑③ 遊牧民が伝えてきた発酵乳	20/1/30	84
世界の乳文化図鑑④ 現代の技術を生かした伝統飲料シユバットの復活	20/2/18	78
世界の乳文化図鑑⑤ 合理的な乳加工の知恵を伝承	20/3/18	40

質問コーナー

タイトル	掲載日	閲覧数
人工授精がうまくいかない場合どうすればよいですか？	19/1/9	162
牛乳は太るって本当？	19/1/31	509
乳牛は1頭いくらで買えますか？	19/2/8	2,768
「アニマルウェルフェア」って何ですか？	19/2/13	141
運動後何分以内に牛乳を飲むと筋肉がたくさん作られるのですか？	19/2/15	1,682
筋肉をたくさん作るためには牛乳が良いと聞きましたが、乳製品でも良いのでしょうか？	19/2/15	145
牛は乳癌にならないのでしょうか？	19/2/20	119
粉ミルクは何倍希釈で与えるのが通常なのでしょうか？	19/2/21	744
鳥インフルエンザはよく聞きますが、牛や豚、馬や羊は感染しないのでしょうか？	19/2/22	149
次亜塩素酸水は酪農の現場でも使われていますか？	19/2/27	302
ヨーグルトメーカーで作ったヨーグルトの成分は、元のヨーグルトと同じですか？	19/2/28	9,311
トラクタの自動操舵技術は実用段階にあるのですか？	19/5/22	220
牛の第一胃で菌体タンパクを合成するのに必要な「エネルギー」って具体的に何を指しているのですか？	19/9/12	96
水溶性タンパクの高い高水分サイレージに即効性のあるエネルギーとしてブドウ糖が良いと聞きますが、給与量はどれくらいですか？	19/9/12	87
後代検定とゲノム検査の違いは何ですか？	19/10/11	201
牛でもゲノム編集は行われるのでしょうか？	19/10/15	82
乳糖分解酵素がない人でも牛乳料理が大丈夫なのはなぜですか？	19/10/16	308
ヨーグルトメーカーでヨーグルトを作るときに、高温殺菌牛乳と低温殺菌牛乳で栄養素や風味に違いはありますか？	19/12/19	348
搾乳で初産牛を最初に搾ることが望ましいとされているのはなぜですか？	19/12/20	102
新型コロナウイルスは牛にも感染しますか？	20/2/6	930
ヨーグルトを毎日食べていたらコロナウイルス感染の予防になりますか？	20/2/19	10,181

k. ページ別アクセス状況（共進会結果・お知らせ）

「北海道酪農技術セミナー2019」開催案内の閲覧数が最も多くなりました。「北海道酪農技術セミナー」は業界最大規模のセミナーで関係者の関心が高いことに加え、他の媒体よりも早い時期にプログラムを掲載したことで検索サイトの上位に表示されるようになったことからアクセスが伸びたと考えられます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校給食が休止されたことを受け投稿した「コロナに負けるな！！積極的な牛乳・乳製品消費を！」は、SNSでも多くシェアされたことから閲覧数が伸びました。

2019年度 お知らせ

タイトル	掲載日	閲覧数
「2019年度大動物継続教育合同セミナー」の開催について	4/19	73
第15回全日本ホルスタイン共進会 九州・沖縄ブロック大会に協賛します！	7/19	37
「北海道酪農技術セミナー2019」の開催について	7/25	2,731
「第10回北海道農場HACCP研究会」の開催について	7/26	507
「酪農ジャーナル」のバックナンバーページができました	9/10	64
「令和元年度中央審査研究会」が開催されました	10/2	134
消費税率変更に伴う書籍販売価格変更のお知らせ	10/3	22
「第43回大動物臨床研究会シンポジウム」の開催について	10/11	83
第58回酪農公開講座『乳牛の繁殖から子牛の管理まで』の開催について	11/8	56
第14回酪農学園大学公開講座『今、野生動物との関係を見直す』の開催について	11/8	32
「北海道酪農技術セミナー2019」に出展しました	11/13	59
公開シンポジウム「若者を農村に呼び込む交流集会」の開催について	11/21	111
公開シンポジウム「学生と女性農業者との交流会」の開催について	11/21	69
『2020年版酪農経営日誌』を公開しました	12/3	68
『サンディーの部屋』ができました！	12/5	55
2019年度アニマルウェルフェア畜産協会シンポジウムの開催について	1/17	242
コロナに負けるな！！積極的な牛乳・乳製品消費を！	3/3	1,031

2019年度 共進会情報

タイトル	掲載日	閲覧数
第44回陸中ホルスタインブラック&ホワイトショー	4/25	85
第40回岩手県沿岸ブラック&ホワイトショー	4/26	104
第44回後志ブラック&ホワイトショー	5/21	61
2019年道北ブラックアンドホワイトショー	5/23	124
第50回十勝ブラックアンドホワイトショー	5/23	190
第39回石狩スプリングショー	6/5	88
2019年北海道ブラックアンドホワイトショー	7/1	156
第53回根室市ホルスタイン共進会	7/3	91
令和元年度江別市ホルスタインショー	7/25	93
令和元年度釧路ホルスタイン共進会	9/17	80
第50回十勝総合畜産共進会(乳用牛の部)	9/17	101
令和元年根室ホルスタイン共進会	9/18	49
第65回道南畜産共進会(乳用牛の部)	9/18	49
2019日胆畜産共進会(乳用牛の部)	9/20	39
第54回道央酪農祭ホルスタイン共進会	9/24	32
第61回上川管内総合畜産共進会(乳用牛の部)	9/25	61
第69回北見管内総合畜産共進会(乳用牛の部)	9/26	55
第62回洋野・新岩手ホルスタインショー	10/7	48
第17回北海道総合畜産共進会(乳用牛の部) 結果	11/11	115

① SNSアクセス状況

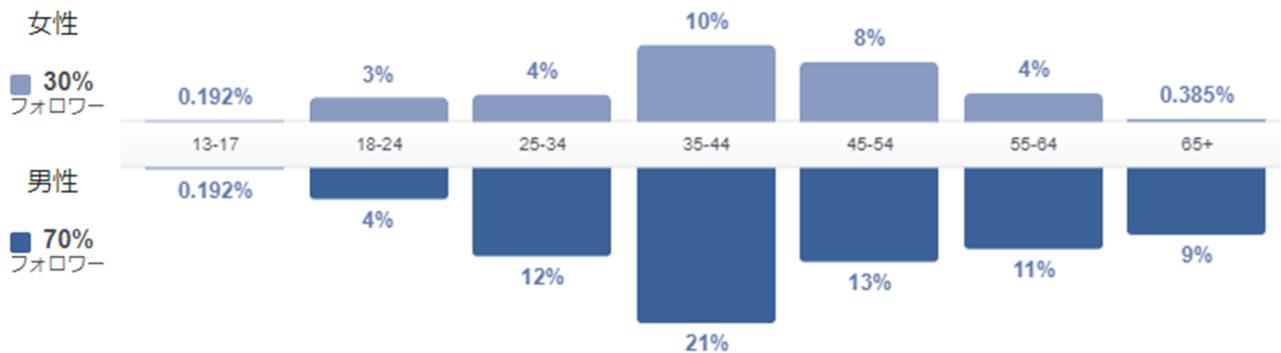
Facebook

週1回以上の更新を原則とし、最新記事の紹介、動画や特集などの月間人気ランキング紹介(7月～)を中心に投稿しました。2020年1月からはグループ「酪農・畜産」(参加者約5,000名)に参加しています。

- フォロワー数 519人(前年度+157人)
- いいね!数 482件(前年度+137件) ※酪農PLUS+のページに対するいいね!
- 投稿数 303件(前年度+228件)



■ フォロワーの性別・年齢



■ 記事別閲覧数

月間人気動画ランキング(12月分)は、Facebookページ「酪農・畜産」にシェアされたことで閲覧数が伸びました。卒業生に向けたメッセージや健土健民牛乳販売のお知らせは学園OBの方々からの反響が大きく、閲覧数が伸びました。

	内 容	掲載日	閲覧数
1	月間人気動画ランキング(12月分)	1/6	3,687
2	サンディーから卒業生へ	3/16	2,976
3	健土健民牛乳販売(コープさっぽろ)のお知らせ①	7/9	2,888
4	雪の白樺並木(サンディーと牛さん)	11/28	2,792
5	世界の牛乳～リオニア編①～	6/3	2,457

■ 記事別いいね!数

校内でのトラクター作業風景、サンディーの活動報告で「いいね!」が多い傾向にありました。

	内 容	掲載日	いいね数
1	トラクター作業風景(デントコーン播種・ローラー部隊)	5/10	70
2	世界の牛乳～リオニア編①～	6/3	60
3	トラクター作業風景(堆肥、肥料まき)	4/25	56
4	アイスクリームの日(サンディーと酪農アイス)	5/9	52
5	雪の白樺並木(サンディーと牛さん)	11/28	51



サンディーから卒業生へ



健土健民牛乳販売



トラクター作業風景(ローラー)



雪の白樺並木

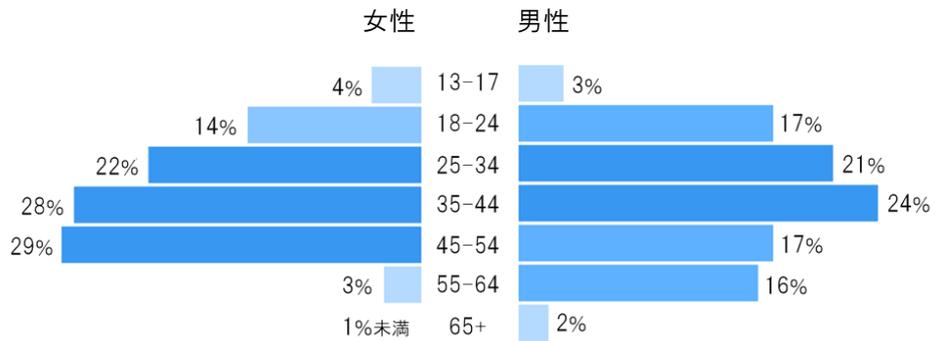
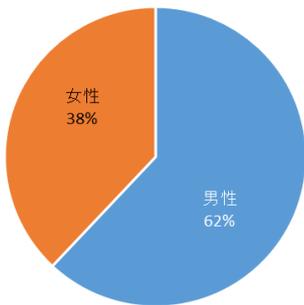
Instagram

6月の牛乳月間に合わせて世界の牛乳を紹介したほか、7月以降は世界の乳製品や牛グッズ、学内の畑の風景、サンディーの活動状況などを中心に投稿しました。ほぼ全ての投稿をfacebookでも閲覧できるよう同期しています。

- フォロワー数 185人(前年度+129人)
- いいね！数 4,008件(前年度+3,822件) ※各投稿に対するいいね！の合計
- 投稿数 163件(前年度+144件)



■ フォロワーの性別・年齢



■ 記事別閲覧数

世界の牛グッズシリーズで閲覧数が伸びる傾向にありました。インスタグラムには投稿をシェアする機能がないことから、閲覧数や「いいね！」の伸び方はFacebookとはやや異なる傾向にありました。

	内 容	掲載日	閲覧数
1	世界の牛グッズ～ポーランド編～(ミルクポット)	9/2	573
2	世界の牛グッズ～ドイツ編～(香炉)	1/20	469
3	トラクター作業風景(デントコーン収穫動画)	9/25	461
4	世界の乳製品～ポーランド編～(クルフカ)	8/21	433
5	世界の牛グッズ～ドイツ編～(オーナメント)	1/16	423

■ 記事別いいね！数

	内 容	掲載日	いいね数
1	トラクター作業風景(デントコーン収穫動画)	9/25	55
2	トラクター作業風景(デントコーン播種・ローラー部隊)	5/10	53
3	トラクター作業風景(デントコーン収穫写真)	9/25	50
4	牛グッズ(帯広畜産大学カフェ)	11/8	48
5	雪の白樺並木(サンディーと牛さん)	11/28	47
	世界の牛グッズ～ポーランド編～(ミルクポット)	9/2	47



牛のミルクポット



牛の香炉



デントコーン収穫



乳製品(クルフカ)

③ 共進会協賛状況

地区	共進会名	協賛内容	開催日
北海道	北海道B&Wショウ	広告料:30,000円	5/25-26
	北海道総合畜産共進会 (4年毎、2018年度は胆振地震のため中止)	広告料:51,840円 副賞:4セット	9/28-29
石狩	石狩スプリングショウ	協賛金:10,000円	5/18
	江別市ホルスタイン共進会	カップ:3,000円	7/13
	道央酪農祭ホルスタイン共進会	副賞:2セット	8/22
後志	後志B&Wショウ	副賞:2セット	4/25
日高	日胆畜産共進会	副賞:2セット	8/24
渡島	道南畜産共進会	副賞:2セット	8/21
上川	上川管内総合家畜共進会	副賞:2セット	8/23
留萌	道北B&Wショウ	副賞:2セット	5/11
宗谷			
オホーツク	北見管内総合家畜共進会	副賞:2セット	8/23-24
	西紋B&Wショー	協賛金:10,000円	4/19
	JAオホーツクはまなす乳牛・肉牛共進会	副賞:2セット	5/31
十勝	十勝B&Wショウ	副賞:2セット	5/12
	十勝総合畜産共進会	副賞:2セット	8/18
釧路	釧路ホルスタイン共進会(2019年度新規)	副賞:2セット	8/13
根室	根室ホルスタイン共進会	副賞:2セット	8/18
	根室市ホルスタイン共進会	副賞:2セット	6/7
東北地方			
岩手県	岩手県沿岸ホルスタイン共進会	副賞:2セット	10/5
	岩手県沿岸B&Wショウ	副賞:2セット	4/13
	洋野・新岩手ホルスタインショウ	副賞:2セット	9/14
	陸中ホルスタインB&Wショウ	副賞:2セット	4/13
関東地方			
栃木県	栃木県ホルスタイン共進会(栃木県酪農フェア)	-	中止
副賞内容:クリアマジック2本・ブラックマジック1本/セット		計	22件

④ マスコットキャラクター「サンディー」活動状況

活動内容	日付	場所
役員表敬訪問	4/2	学内
2019年度酪農学園大学入学式	4/4	学内
「アイスクリームの日」PR	5/9	学内
「世界牛乳の日」PR	6/1	学内
農産物販売会	6/13	学内
小学生との交流	6/14	学内
健土健民牛乳PR	7/11	コープさっぽろLucy店
オープンキャンパス	7/20	学内
栄養ワンダー2019 酪農学園大学	7/26	学内
江別サンサンキッズ	7/31	学内
酪農学園大学ひらめき☆教室	8/1	学内
元気！ミルク大学	8/9	学内
えべつものづくりフェスタ	9/7	ほくでん総合研究所
長井学園法人祭	9/14	江別緑志苑
収穫感謝祭	9/28	学内
とわの森三愛高校1年生キャンパスツアー	10/29	学内
ハロウィーン	10/31	学内
どさんこワイド179 30秒PR	2/19	札幌駅前広場
学長式辞動画(学位記授与式)出演	3/18	学内



入学式



健土健民牛乳PR



オープンキャンパス



長井学園法人祭



収穫感謝祭



どさんこワイド179出演

「サンディーの部屋」開設

2019年12月に、サンディーのプロフィールと活動状況を紹介する特設ページ「サンディーの部屋」を開設しました。



「ゆるキャラグランプリ2019」エントリー

「ゆるキャラグランプリ2019」にエントリーしました。

投票期間は8月1日(木)～10月25日(金)で、結果は380位(165ポイント)でした。

3. 国際交流課

(1) 学術交流協定

2019年度は新たにイタリア・パドヴァ大学(University of Padua)と協定を締結することに合意し、またモンゴル・国立大学(National University of Mongolia)とも協定締結を進めています。

(締結年月日順)

締結年月日	機 関 名	国 名	自動延長年数	次回更新
1985.08.01	アルバータ大学	カナダ	なし	無期限
1988.08.09	内蒙古農業大学	中 国	3年	2022.03
1988.11.17	オハイオ州立大学 獣医学部とは1988.11.17に締結 食品・農業・環境科学部とは1998.12.17に締結	アメリカ	なし	無期限
1991.06.03	コーネル大学 畜産学部	アメリカ	なし	無期限
1994.05.19	ワルシャワ農業大学	ポーランド	5年	2024.05
1994.10.14	国立韓京大学校（旧安城産業大学）	韓 国	5年	2023.07
1995.02.15	デンマーク国立畜産研究所	デンマーク	5年	2025.02
1997.07.31	新疆農業大学	中 国	5年	2022.07
1997.11.30	国立嘉義大学	台 湾	5年	2021.08
1998.05.07	オールズカレッジ	カナダ	5年	2023.06
1998.08.31	国立屏東科技大学	台 湾	3年	2022.08
2001.01.22	ハノーバー獣医科大学	ドイツ	なし	—
2001.10.31	韓国食品開発研究院	韓 国	5年	2021.10
2002.02.04	東フィリピン大学 獣医学部 全学とは2015.3.2に締結	フィリピン	5年	2020.03
2002.02.16	内蒙古民族大学	中 国	3年	2020.02
2005.04.11	フィンドレー大学	アメリカ	5年	2020.04
2006.07.24	サスカチュワン大学 ※更新済み	カナダ	5年（1回）	2022.10
2007.08.15	国立中興大学 ※更新済み	台 湾	5年	2022.10
2007.10.25	サムヒギンボトム農業科学技術大学 （旧アラハバード農業大学）	インド	5年	2022.10
2009.03.23	モンゴル生命科学大学（旧モンゴル国立農業大学） 獣医学研究所とは2017.8.21に締結	モンゴル	5年	2019.03 2022.08
2009.12.15	国立韓国農水産大学	韓 国	5年	2019.03
2009.12.25	国立バイオセンター	カザフスタン	5年	2019.12
2009.12.26	アルファラビカザフ国立大学	カザフスタン	5年	2019.12
2011.02.22	アスンシオンカトリック大学	パラグアイ	5年	2021.02
2011.08.24	サバ大学 熱帯生物保全研究所 全学とは2016.4.13に締結	マレーシア	5年（1回）	2021.08
2012.01.20	陝西省動物研究所	中 国	5年	2022.01
2012.02.17	国際家畜研究所	ケニア	3年	2021.02
2012.08.18	フスタイ国立公園	モンゴル	5年	2021.08

締結年月日	機 関 名	国 名	自動延長年数	次回更新
2013.04.18	スイス科学研究所	コートジボワール	5年	2023.04
2013.09.23	マヒドン大学 熱帯医学部 獣医学部とは2015.11.25に締結	タ イ	5年	2023.09 2020.11
2013.09.27	ハノイ公衆衛生大学	ベトナム	5年	2023.09
2013.10.07	ミャンマー獣医科学大学	ミャンマー	5年	2023.10
2014.02.28	チュラーロンコーン大学	タ イ	5年	2024.02
2014.03.03	カセサート大学	タ イ	5年	2024.03
2014.06.16	ロシア極東農業大学	ロシア	5年	2019.06
2014.07.29	ベトナム国立農業大学	ベトナム	5年	2019.07
2015.02.24	グラスゴー大学 生物多様性・家畜衛生・比較医学インスティテュート	イギリス	5年	2020.02
2015.03.25	タイ王国保健省医科学局	タ イ	なし	2017.03
2015.04.28	コンケン大学	タ イ	5年	2020.04
2016.03.22	タマサート大学	タ イ	5年	2021.03
2019.01.28	ベトナム国立獣医学研究所	ベトナム	5年	2019.07
2019.01.29	パデュー大学	アメリカ	5年	2024.01
2019.03.29	マケレレ大学	ウガンダ	5年	2024.03
	パドヴァ大学 	イタリア		
	モンゴル国立大学 	モンゴル		

【協定締結に係る更新・交渉情報】

- ・ 2019年5月 中国・内蒙古民族大学と協定内容更新に係る打診があり継続協議中です。
- ・ 2019年8月 マレーシア・サバ大学と協定内容更新に係る打診があり継続協議中です。
- ・ 2019年9月 アメリカ・フィンドレー大学、カナダ・アルバータ大学、オールズカレッジ、NAIT（アルバータ協会）らを訪問し、派遣学生視察、情報交換等を行いました。
- ・ 2020年1月 モンゴル文化教育大学学長が来学し、協定締結に向けて交流を開始する協議を行いました。
- ・ 2020年2月 ロシア極東農業大学副学長が来学し、研究交流、学生交流プログラムについて協議を行いました。
- ・ 2020年3月 イタリア・パドヴァ大学(University of Padua)と協定を締結することに合意し、またモンゴル・国立大学(National University of Mongolia)とも協定締結を進めています。

※ その他更新時期の協定先と更新の案内、意思確認作業を随時進めています。

(2) 研究者・研修員・訪問者の受入れ

① 海外招聘研究者として**2名**の研究者を受け入れました。

所属機関（協定）	研究者氏名	受入期間	担当教員
中国・内蒙古民族大学	Mr. Baiyila Wu	5/25 - 11/21	環境 森(夏)
タイ・カセサート大学	Dr. Manakorn Sukmak	7/10 - 11/10	獣医 萩原

また、2020年度招聘研究者の募集を行い、3名の応募者から2名の受入を決定しました。

② 協定締結機関、日本学術振興会(JSPS)、日本獣医師会等から**26名**の研究者および担当者の訪問を受入れました。

所属機関	種別	目的	受入期間	担当教員
台湾・屏東科技大学（4名）	協定	表敬	4/8	国際交流課
フィリピン・動物検疫所	日本獣医師会	研究	4/10 - 3/20	獣医 村松
モンゴル・国立中央獣医ラボラトリー	協定外	研究	5/7 - 3/31	獣医 川本
ウガンダ・ムバララ県庁畜産事務官、酪農家（3名）	JICA	研修	4/14 - 4/23	獣医 蒔田
フランス・パスツール研究所	協定外	研究	5/1 - 6/30	獣医 臼井
南アフリカ・南アフリカ共和国農業研究機構	JSPS	研究	6/25 - 8/13	獣医 蒔田
タイ・カセサート大学動物病院	協定	研修	10/14 - 12/16	獣医 前原
タイ・Pattaya Veterinary Clinic（4名）	協定外	研修	10/15 - 10/19	獣医 中出
イタリア・パドヴァ大学	協定外	打合せ	10/28	国際交流課
南アフリカ・南アフリカ共和国農業研究機構	JSPS	研究	11/4 - 11/29	獣医 蒔田
タイ・コンケン大学	協定	研究	11/7 - 11/21	獣医 渡邊
南アフリカ・南アフリカ共和国農業研究機構（3名）	JSPS	研究	11/23 - 11/30	獣医 蒔田
モンゴル・文化教育大学	協定外	表敬	1/15	理事長・学長
ロシア・極東農業大学	協定	打合せ	2/5	国際交流課
モンゴル・モンゴル生命科学大学獣医学研究所	協定	打合せ	2/12 - 2/15	獣医 萩原
ベトナム・国立獣医学研究所	協定	打合せ	2/12 - 2/15	獣医 萩原

③ JICA研修として日系研修**2名**、集団研修（課題別研修）**11名**を受け入れました。

国名	種別	人数	受入期間	担当教員
ブラジル	日系研修「リモートセンシング技術による農地、森林、環境資源管理とモニタリング」	1名	5/20 - 8/30	環境 金子
パラグアイ	日系研修「GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法」	1名	5/20 - 2/28	環境 金子
5カ国 ^{※1}	集団研修「森林リモートセンシングコース」	6名	5/13 - 6/28	環境 金子
4カ国 ^{※2}	集団研修「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理コース」	5名	8/26 - 10/9	環境 金子

※1 カメルーン、ガボン、ケニア、パプアニューギニア、ペルー

※2 カメルーン、ミャンマー、ソロモン、チュニジア

以上、**41名**を受け入れました。

(3) JICA(独立行政法人国際協力機構)

① 研修員等受入実績

年度	受入学類	教員	出身国	人数	種別	研修テーマ	期間
2019	獣医	蒔田	ウガンダ	3	ムバララ県庁畜産事務官、酪農家	JICA草の根「ムバララ県安全な牛乳生産支援プロジェクト」受入研修	4/14-4/23
	環境	金子	5カ国(カメルーン、ガボン、ケニア、パプアニューギニア、ペルー)	6	集団研修(課題別研修)	「森林リモートセンシングコース」	5/13-6/28
	環境	金子	4カ国(カメルーン、ソロモン、チュニジア、ミャンマー)	5	集団研修(課題別研修)	「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理コース」	8/26-10/9
	環境	金子	ブラジル	1	日系研修	短期：リモートセンシング技術による農地、森林、環境資源管理とモニタリング	5/20-8/30
	環境	金子	パラグアイ	1	日系研修	長期：GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法	5/20-2/28
2018	食と健康	石井	ブラジル	1	日系研修	「食品科学と栄養管理」	5/22-3/1
	環境	金子	ブラジル	1	日系研修	「GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法」	5/22-3/1
	環境	金子	6カ国(ウガンダ、ケニア、チュニジア、ブラジル、ホンジュラス、レバノン)	6	集団研修(課題別研修)	「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理コース」	5/14-6/22
	環境	金子	6カ国(ウガンダ、カメルーン、ケニア、パプアニューギニア、フィジー、マラウイ)	6	集団研修(課題別研修)	「森林リモートセンシングコース」	8/20-10/5
2017	食と健康	石井	ブラジル	2	日系研修	「食品科学と栄養管理」	5/22-3/2
	環境	金子	インドネシア	1	技術評価応用庁(個別受入)	インドネシア国技術評価応用庁技術者受入研修(JICA東京依頼)	7/18-8/10
	環境	金子	インドネシア	2	リアウ大学教員(個別受入)	インドネシア国リアウ大学教員受入研修(JICA東京依頼)	10/1-10/28
	環境	金子	11カ国(インドネシア、エチオピア、ガイアナ、カンボジア、ケニア、ソロモン、パプアニューギニア、ベトナム、マラウイ、モンゴル、ラオス)	14	集団研修(課題別研修)	「森林リモートセンシング」	5/8-6/23
	環境	金子	9カ国(アフガニスタン、イラン、インドネシア、エチオピア、コンゴ民主共和国、チュニジア、パプアニューギニア、マラウイ、モザンビーク)	12	集団研修(課題別研修)	「市場メカニズム」	1/22-3/2

② 事業実施実績

実施年度	学類	教員	対象国	事業名	プロジェクト名
2018~2022	環境	金子	ソロモン	技術協力事業	ソロモン国持続的森林資源管理能力強化プロジェクト(国際航業株式会社との共同企業体協定)
2016~2019	獣医	蒔田	ウガンダ	草の根技術協力事業(草の根パートナー型)	ムバララ県安全な牛乳生産支援プロジェクト
2012~2016	環境	金子	マレーシア	草の根技術協力事業(草の根パートナー型)	キナバタンガン川下流域の生物多様性保全のための住民参加型村おこしプロジェクト

③ その他

2019年8月21日、本学とJICAとが、ウガンダ国における安全な牛乳生産力の向上支援のため、2024年12月までの5年間学生等を海外協力隊として派遣する連携覚書を締結いたしました。

(3) 学生の受入れ

フィンドレー大学、カセサート大学、サバ大学など協定機関を中心に**48名**の学生を受け入れました。

所属機関	種別	人数	受入期間	担当教員
エジプト・マンスーラ大学	協定外	1名	4/1 - 3/19	獣医 白井
アメリカ・フィンドレー大学	協定	6名	5/16 - 6/7	看護 国際交流課
台湾・国立嘉義大学	協定	5名	5/19 - 6/4	獣医 村田
マレーシア・サバ大学	協定	6名	6/7 - 8/12	環境 金子
アメリカ・パデュー大学（引率1名）	協定	5名	6/16 - 6/30	看護 国際交流課
韓国・慶北大学（引率2名）	協定外	14名	7/4	国際交流課
アメリカ・フィンドレー大学（引率1名）	協定	3名	7/11 - 7/22	国際交流課
タイ・カセサート大学（単位互換）	協定	5名	9/28 - 12/22	獣医
台湾・中興大学	協定	1名	1/12 - 2/14	獣医
台湾・中興大学	協定	1名	1/31 - 3/6	獣医
日本・北海道大学大学院（タイ人学生）	協定外	1名	3/16 - 3/27	獣医 白井



(4) 学生の派遣

① 国際交流課プログラム 【13名】

フィンドレー大学ベケット奨学金派遣留学プログラムは、8月から約9カ月間の留学をします。学部、大学院、集中英語からコースを選択し、留学中の授業料は免除されます。

アルバータ大学夏季研修プログラムは、8月から1カ月間留学し、英語の授業だけでなく近隣施設訪問など様々なアクティビティも行います。

海外農業研修サポートプログラムは、カナダで農業研修を希望する学生をサポートするプログラムです。

カセサート大学獣医単位互換プログラムは、9月から3カ月間留学し、取得した単位を互換することができます。

派遣先	プログラム種別	人数	派遣期間	所属・学年
アメリカ・フィンドレー大学	2018年度 ベケット奨学金派遣留学プログラム	1名	2018/8/14 - 2019/5/8	循環 2
アメリカ・フィンドレー大学	2019年度 ベケット奨学金派遣留学プログラム	1名	2019/8/13 - 2020/3/27	獣医 2
カナダ・アルバータ大学	夏期研修プログラム	3名	2019/8/28 - 9/22	循環 3, 4
カナダ・Tuxed Farms カナダ・Breevliet Ltd. カナダ・Ferme Jacobs	海外農業研修サポートプログラム	3名	2019/8/27 - 9/22 2020/2/11 - 3/11 2020/2/10 - 3/25	循環 2, 3
タイ・カセサート大学	獣医単位互換プログラム	5名	2019/9/28 - 12/22	獣医 5



② トビタテ！留学JAPAN 【2名】

派遣先	人数	派遣期間	所属・学年
ウガンダ ムバララ県獣医事務所	1名	2018/10/14 - 2019/8/26	獣医 5
ニュージーランド マッセー大学	1名	2019/3/29 - 2019/10/16	院獣 4

③ その他協定機関派遣（実習・調査等） **【69名】**

派遣先	種別	人数	受入期間	担当教員
モンゴル・フスタイ国立公園	実習・調査	10名	4/25 - 5/11	環境 星野
アメリカ・パデュー大学	研修・実習	3名	7/20 - 8/3	看護 国際交流
台湾・屏東科技大学	研修・実習	3名	8/13 - 9/28他	環境 金子
モンゴル・フスタイ国立公園	実習・調査	12名	8/16 - 8/28	環境 星野
カナダ・アルバータ大学	研修・実習	2名	8/21 - 9/1	環境 吉中
中国・内蒙古民族大学	実習・調査	12名	8/30 - 9/6	環境 森
マレーシア・サバ大学	実習	8名	8/31 - 9/14他	環境 金子
カザフスタン・アルファラビカザフスタン国立大学	調査	2名	9/3 - 9/11	環境 星野
モンゴル・フスタイ国立公園	調査	2名	9/16 - 9/25	環境 星野
マレーシア・サバ大学	調査	1名	1/12 - 2/15	環境 金子
マレーシア・サバ大学	研修・実習	14名	2/10 - 3/19他	環境 金子

④ 協定機関以外の派遣（学会・ゼミ研修・調査等） **【62名】**

⑤ その他の農業研修（スイス・1年・JAEC） **【2名】**

以上、**148名**を派遣しました。

JCSOS海外留学生管理システム

・学生を海外に派遣する際、万が一の事件事故発生時にサポートを受けるため、緊急事故支援システムに加入しています。2019年度は、**143名**の学生加入手続きを行いました。

加入月	2016		2017		2018		2019	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	2	7	3	8	3	11	1	10
5月	1	1	1	2	0	0	0	0
6月	5	6	2	2	2	2	3	3
7月	2	4	2	4	1	4	4	7
8月	10	39	10	42	9	38	12	57
9月	9	51	12	48	6	19	7	19
10月	2	2	3	5	2	3	4	6
11月	1	1	6	20	5	16	2	14
12月	2	2	1	7	3	11	3	4
1月	5	9	2	3	4	4	3	4
2月	5	15	4	14	5	31	5	19
3月	5	24	4	13	3	5	0	0
合計	49	161	50	168	43	144	44	143
保険料	348,611		453,753		264,445		257,962	

(5) 外国人留学生【29名】

2019年10月1日現在

分類	人数	出身国
学部生	9名	中国、韓国、台湾
大学院生【修士】	6名	中国、韓国、スウェーデン
大学院生【博士】	7名	中国、台湾、タイ、カンボジア
研究生	7名	中国、モンゴル

留学生バスツアー

- ・江別市主催の留学生バスツアーに、本学から**3名**の学生が参加しました。(2019/10/6)
- ・アジア酪農交流会および国際交流課の共催でバスツアーを開催し、参加者31名の内、留学生や研究者等**22名**が参加しました。(2019/10/26)

(6) 青年海外協力隊派遣実績

2019年12月現在

	獣医・衛生	家畜飼育	環境教育	コミュニティ開発	野菜栽培	理科教育	畜産・乳製品加工	飼料作物	農業協同組合	食用作物・稲作栽培	食品加工	農業機械	きのこ栽培	土壌肥料	家政・生活改善	栄養士	公衆衛生	感染症・エイズ対策	統計	花き栽培	病虫害対策	マーケティング	青少年活動	視覚教育	幼児教育	生態調査	動物学	ソーシャルワーカー	その他	合計
循環農学類 (旧酪農学科、農業経済学科、短大含む)	62	1	5	11	5	6	6	5	4	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	121	
食と健康学類 (旧食品科学科、食品流通学科含む)	2				2	4				3					2	1													14	
環境共生学類 (旧経営環境学科、地域環境学科、生命環境学科含む)			14	4	3												1							1					23	
獣医学類 (獣医学科含む)	61	4	1	2	1												1					1				1			72	
獣医保健看護学類																													0	
大学院	34	4	2											1	1							1							43	
合計	95	72	18	11	11	10	6	5	4	4	3	2	1	1	273															
うち、2019年12月現在派遣中の人数	1	2	2	2	1	1									1										1				11	

(7) TOEIC-IP

2019年度スコア／過去のTOEIC-IPスコアの推移

		受講者数	最低	最高	平均	～299	300～399	400～499	500～599	600～699	700～799	800～
第54回	5月	34	225	890	435	11	4	6	8	2	2	1
第55回	6月	28	215	725	403	9	5	7	4	1	2	0
第56回	10月	27	220	875	452	3	8	6	7	2	0	1
第57回	12月	24	200	810	450	3	7	6	4	3	0	1
第58回	1月	30	195	865	408	10	7	7	1	3	1	1
58回		受講者数	最低	最高	平均	～299	300～399	400～499	500～599	600～699	700～799	800～
2019年度	全5回	143	195	890	430	33	28	30	24	10	5	4
2018年度	全5回	84	75	935	456	11	24	17	19	8	1	4
2017年度	全5回	107	175	850	419	24	21	24	23	12	1	2
2016年度	全5回	119	205	960	457	11	29	39	24	9	3	4
2015年度	全5回	137	130	970	435	31	34	29	22	8	7	6
2014年度	全5回	134	160	880	404	30	49	25	17	11	0	2
2013年度	全6回	89	185	745	447	16	16	22	23	9	3	0
2012年度	全3回	86	165	820	417	14	27	21	12	9	2	1
2011年度	全3回	43	200	755	429	9	9	8	15	1	1	0
2010年度	全3回	42	190	845	398	10	15	9	5	0	1	2
2009年度	全3回	51	125	715	381							
2008年度	全3回		185	685	386							
2007年度	全3回		175	800	397							
2006年度	全3回		170	830	402							
2005年度	第1回		225	580	349							

TOEIC対策e-learning



TOEICのスコア向上対策として、ニューブレインアライアンス社のe-learning教材とTOEICリスニング講座を**5,500円**にて学生**100名**に提供しました。キャリアセンターとのコラボ企画により12月1日までに進捗率が80%を超えた場合は、TOEIC-IPテストの受験料を1回無料（12月か1月のみ）としたところ、80%を超えた学生は**25名**となり、TOEIC-IPテストを無料で受験した学生は**19名**となりました。2018年度にくらべ受講人数は**34名**の減となりましたが、特典が受けられる進捗率をクリアした学生は**19名**の増加となりました。

TOEIC-IPテストは気軽に受けやすい分、平均点も高くはありません。2020年度は英語力の向上を図る工夫をし、個人の英語力の推移も確認できるようにし、受講者のモチベーションアップにも繋げていきます。

年度	コース	受講者数	80%以上達成		50～79%達成		49%以下		
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	
2019年度	アルク500	78	11	14.1%	4	5.1%	63	80.8%	
	アルク600		6	7.7%	1	1.3%	71	91.0%	
	アルク730		2	2.6%	1	1.3%	75	96.1%	
	Brains初級		12	3	25.0%	2	16.7%	7	58.3%
	Brains中級		10	3	30.0%	0	0.0%	7	70.0%
2018年度	Brains基礎	27	5	18.5%	4	14.8%	18	66.7%	
	Brains前編	67	6	9.0%	1	1.5%	60	89.5%	
	Brains後編	40	0	0.0%	0	0.0%	40	100.0%	

※ アルク500（英検2級程度）、アルク600（英検2級～準1級程度）、アルク730（英検準1級程度）は、株式会社アルクが実施する通信講座（TOEIC LISTENING AND READING TEST 突破コース（正規料金37,000円/年）で3コースとも受講可能です。

※ Brains初級（初級英語入門・英語の基礎、英検5～3級程度）、Brains中級（中級英語 前編・後編、英検2級～準2級程度）は、株式会社ニューブレイン・アライアンスが実施するe-Learning（正規料金24,000円/年）を採用しています。

(9) 北海道アルバータ酪農科学技術交流協会

◎ 6月28日に理事会、定期総会、留学報告会を開催し、**23名**が参加しました。

◎ 学生派遣

長期派遣 (2018.4.23～)

- ・ アルバータ大学・エクステンション学部 English Language School **1名**

短期派遣



- ・ 高校生留学サポートプログラム **1名**
- ・ アルバータ大学夏季研修プログラム英語研修コース **3名**
- ・ 海外農業研修サポートプログラム **3名**

※上記各プログラム参加者に、各20万円の奨学金を支給しました。



高校生留学サポートプログラム



海外農業研修サポートプログラム



アルバータ大学 夏季研修プログラム

◎ 佐藤貢・雪印乳業一酪農学園・アルバータ大学奨学金支給人数

(2016年度～以降の実績)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	合計
夏季研修プログラム (20万円)	7	2	2	3		14
海外農業研修サポートプログラム (20万円) ※2017年度開始	—	1	1	3		5
大学院生留学サポートプログラム (30万円) ※2017年度開始	—	1	0	0		1
高校生留学サポートプログラム (20万円) ※2019年度開始	—	—	—	1		1

2019年度 社会連携センター運営委員会

社会連携センター センター長	金子 正美
社会連携センター 副センター長	萩原 克郎
社会連携センター 副センター長	石井 智美
農食環境学群 循環農学類 教授	泉 賢一
農食環境学群 食と健康学類 講師	小林 道
農食環境学群 環境共生学類 准教授	吉中 厚裕
獣医学群 獣医保健看護学類 准教授	郡山 尚紀 ※アメリカ パデュー大学へ留学(2019/8/27～)
獣医学類 獣医保健看護学類 講師	宮庄 拓 ※郡山先生代理
社会連携センター 事務次長	高山 基樹
社会連携センター 地域連携課 課長	金子 千恵
社会連携センター 国際交流課 課長	横川 容子

※2019年度は全8回の運営委員会を開催しました。

2019年度 社会連携センター運営委員会 議案一覧

1	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンドレー大学2018年度実績報告について ・2019年度酪農学園ミルク産業活性化推進事業募集について ・外国人留学生対象奨学金の学内選考方法について ・私費外国人留学生に係る前学期授業料免除学生の選考について ・学内組織・施設名称の英語表記一覧の修正および追加について
2	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度前学期留学生等チューターの決定について
3	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌グランドホテルとの包括連携と協力に関する協定書の見直しについて
4	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度酪農学園ミルク産業活性化推進事業実施申請の採択について ・学内組織・施設名称の英語表記一覧の修正および追加について ・雪印メグミルク株式会社新任研修について ・北海道SDGs推進プラットホームについて ・梨湖フーズ株式会社との包括連携協定締結について
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ミルク産業活性化推進事業実施申請の採択について ・梨湖フーズ株式会社との包括連携協定について ・JICA海外協力隊(大学連携)覚書の締結について
6	<ul style="list-style-type: none"> ・私費外国人留学生に係る2019年度後学期授業料免除学生の選考について ・2019年度後学期留学生等チューターの決定について ・イタリア・パドヴァ大学との学術交流協定締結について ・海外招聘研究者制度について ・郡山先生留学に係る代理依頼について
7	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル国立大学との学術交流協定について ・エスワン動物専門学校との包括連携協定締結について ・社会連携センター運営委員会規程の見直しについて ・新型コロナウイルス発生に伴う本学の対応について
8	<ul style="list-style-type: none"> ・浜頓別町との地域総合交流に関する協定締結について ・2020年度前学期留学生等チューターの決定について ・酪農学園大学外国人受入規程の改正について ・酪農学園大学外国人短期研修受入規程の制定について ・2020年度海外招聘研究者の選考について

2019年度 社会連携センター STAFF

センター長	金子 正美
副センター長(国際交流課担当)	萩原 克郎
副センター長(地域連携課担当)	石井 智美
事務次長	高山 基樹
国際交流課 課長	横川 容子
国際交流課 主任主事	柿崎 明子 ※研究支援課へ異動(～2019年11月30日)
国際交流課 主任主事	品川 晴香
国際交流課 パート職員	アルドウ 直子
地域連携課 課長	金子 千恵
地域連携課 主事補	植松 正平
地域連携課 契約職員	中井 亜希子 ※農事課へ異動(～2020年1月14日)
地域連携課 契約職員	中屋 まりな
地域連携課 パート職員	坂本 千尋

SDGsと 社会連携センター

SDGsとは2015年に国連総会で採択された持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) を意味しており、発展途上国だけではなく先進国も取り組むべき課題とされています。SDGsと大学はとても深い関係にあります。本学は建学の精神に則ってSDGsに取り組み、世界中の課題解決に向けて努力します。

